

^{デジタルカメラ} **KeyMission 170** 活用ガイド







- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- 「安全上のご注意」(viiiページ)、「<重要>耐衝撃性能、 防水/防じん、結露について」(xiiページ)、および「無線 通信機能についてのご注意」(88ページ)も必ずお読みに なり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

Jp

肻 見たいページを探す

閲覧中のページで右下の 🎧 をタッチまたはクリックすると、いつでもこのページ に戻れます。

目次項目から探す

スマートフォン/タブレットをお使いの方へ	iii
はじめに	v
目次	xvi
各部の名称	1
撮影の準備	6
カメラを使ってみよう	
動画	
テレビ、パソコンとの接続	53
メニューを使う	
資料	







SnapBridge

あなたの映像を、世界につなげよう

"SnapBridge"へ、ようこそ。ニコンの新たなサービスが、かつてない 豊かな映像体験への扉を開きます。

BLE (*Bluetooth*[®] low energy) テクノロジーと専用アプリで、あなたの カメラとスマートフォン/ タブレット端末を常時接続。

ニコンのカメラとレンズで特別な映像として刻まれたあなたの想いは、 端末に自動転送され、クラウドストレージサービスに直接アップロード 可能。もちろん、クラウド上の映像は、あなたがお持ちのさまざまな端 末からもアクセスできます。

iii

※ 水中では無線通信はできません。

豊かな映像体験へ。まずはアプリをダウンロード!

"SnapBridge"の多彩な機能を楽しむには、 まず専用アプリ「SnapBridge 360/170」 をお手持ちのスマートフォン/タブレット 端末にダウンロードしてください。対応す るiPhone[®]、iPad[®]、iPod touch[®]、または AndroidTM端末なら、簡単な手順でカメラ と連係できます。専用アプリは、ウェブサ イト(http://snapbridge.nikon.com)お よびApple App Store[®] またはGoogle PlayTMから無料でダウンロード可能です。 SnapBridge の最新情報については当社 ホームページでご確認ください。





映像体験をもっと便利に楽しく。"SnapBridge"なら...



常時接続により、撮影した映像をカメラからスマート フォン/タブレット端末に自動転送。映像のオンライン 共有がこれまでよりも簡単に、ストレスなく行えます。 ※動画の自動転送はできません。



撮影画像やサムネイル画像を、ニコンのクラウドスト レージサービス「NIKON IMAGE SPACE」にアップロー ドできます。

映像体験を豊かにする各種サービス

○ カメラのリモート操作

 ・ 映像へのクレジット情報の写し込み
 (撮影情報、撮影日時、任意テキスト、ロゴ
 から最大2種類)

カメラの日時・位置情報の自動更新

○ ファームウェア更新案内の受け取り

SnapBridge 360/170の設定や使い方は11ページ以降をご覧く ださい。

iv









はじめに

はじめにお読みください

このたびは、KeyMission 170をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書の記載について

- ページ右下の るをタッチまたはクリックすると「見たいページを探す」(口ii) を表示します。
- 本文中のマークについて

マーク	意味
V	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただき たいことを記載しています。
Ø	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載してい ます。
ш	関連情報が記載されているページです。

- microSD/microSDHC/microSDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記 することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- カメラの画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、 メッセージなどは、[]で囲って表記しています。
- 本書では、画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

カスタマー登録のお願い

下記のウェブサイトから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/



はじめにお読みください



ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影(結婚式や海外旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正 常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損 害(撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等)についての補償はご 容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー(電池、バッテリーチャージャー、ACアダプ ター、USBケーブルなど)に適合するように作られていますので、当社製品との 組み合わせでお使いください。

- 専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を 示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになる と、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱 や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。



 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可 能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記の ウェブサイトからダウンロードできます。 http://downloadcenter.nikonimglib.com
 ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。
- 印刷した「活用ガイド」をご注文いただけます(有料)。詳細はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。



はじめにお読みください

vi

●著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著 作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的 であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合があ りますのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリーカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけで は、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェア などを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性がありま す。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

譲渡/廃棄前に、必ず、¥(セットアップ)メニュー(□59)の[本体設定]の [設定クリアー]でカメラの設定を初期化してください。初期化後、市販のデータ 削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、¥(セットアッ プ)メニューの[本体設定]の[カードの初期化]でメモリーカードを初期化後、 メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。 メモリーカードを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに十 分ご注意ください。

●デジタルカメラ KeyMission 170 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用 されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

(VCCIマークは以下の操作でモニター上に表示されます。撮影画面にする → ∞ ボタン → ¥ (セットアップ)アイコン→ ∞ ボタン→ 本体設定→ ∞ ボタン → 認 証マークの表示 → ∞ ボタン)

VCCI-B

●リモコンML-L6 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用 されると、受信障害を引き起こすことがあります。 説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



🕤 はじめに

はじめにお読みください

vii

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に 「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。 この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。



は、してはいけない内容です。

は、実行しなければならない内容です。





禁止 製品を、頭部に直接装着しない 事故やけがの原因になります。



製品を、のりものを運転・操縦しながら操作しない 製品は、運転操作や車体の可動を妨げる場所には取り付けない 禁止 製品は、競技用装備などの妨げになる場合は装着しない 製品は、人やものと接触する状況では身体に装着しない 事故やけがの原因になります。



安全上のご注意

viii



○ 分割	 ・解、修理または改造をしない ぶ下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない 感電やけがの原因になります。
() *	 熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電 源を取り外す 放置すると、発火、やけどの原因になります。
◎ 禁	た ぬれた手で電源ブラグを抜き差ししない 感電や発火の原因になります。
♦	生」 電源を入れたまま長時間直接触らない 低温やけどの原因になります。
() 禁	引火、爆発のおそれのある場所では使わない プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉 塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。
	 幼児の手の届くところに置かない 故障やけがの原因になります。 小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。
	 指定外の電池、充電器、ACアダブター、USBケーブルは使わない 指定の電池、充電器、ACアダブター、USBケーブルを使う際は、 以下の点に注意する コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない 重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、無理に曲げ たりしない 海外旅行者用電子式変電圧器(トラベルコンバーター)や DC/ ACインバーターなどの電源に接続して使わない 発火、感電の原因になります。
	充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグ 住地らない 感電の原因になります。
() ¥	製品は、はずれないように正しく装着する 周囲の状況を把握して、安全を確認する 競技や施設のルールを遵守し、安全に配慮する 事故やけがの原因になります。



安全上のご注意



<u>/</u>注意

○ 禁止	レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない 集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。
1 実行	使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする 無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しな いようにする 医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に 悪影響を与えるおそれがあります。
🌔 実行	長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す 故障や発火の原因になります。
◇ 禁止	夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない 故障や発火の原因になります。
〔 〕 実行	製品の取り付け状態、劣化や破損の有無を定期的に点検する 事故やけがの原因になります。
◎ 禁止	製品を装着した状態で身体を激しく動かさない 製品がはずれると、事故やけがの原因になります。
◎ 禁止	製品を不安定な場所に置いたり、とりつけたりしない 製品がはずれたり倒れたりすると、事故やけがの原因になりま す。



安全上のご注意





電池は誤った使い方をしない

注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の 原因になります。

- 充電池は、専用の充電池以外を使わない
- 電池を火の中に入れたり、加熱したりしない
- 禁止・電池を火の中に人物
 - 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させて ショート(短絡)しない
 - 電池、または電池を入れたカメラに強い衝撃を与えたり、投げたりしない



リチャージャブルバッテリー EN-EL12は、EN-EL12の充電機能 禁止 付きカメラ本体または専用の充電器以外で充電しない



液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗 実行 い流し、医師の診察を受ける 放置すると、目に傷害を与える原因になります。



\bigcirc	禁止	電池を乳幼児の手の届く所に置かない 飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください <u>。</u>
\bigcirc	禁止	水につけたり、雨にぬらしたりしない 発火や故障の原因になります。 ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってくだ さい。
\bigcirc	禁止	変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない 所定の時間を超えても充電が完了しなければ、充電を中止する 放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
	実行	電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニー ルテーブなどで接点部を絶縁する 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。 ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただく か、自治体の規則に従って廃棄してください。
	実行	電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水 で洗い流す 放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。



安全上のご注意



<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について

- ここに記載している耐衝撃性能、防水 / 防じん性能は、すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。
- 本製品をぶつけたり落としたり、本製品に重いものを載せたりして、強い衝撃 や振動や圧力を与えないでください。変形して気密性を失い、故障や浸水の原 因になります。
- お客さまの誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は、保証の対象外です。

耐衝撃性能について

MIL-STD 810F Method 516.5-Shock^{**1}に準拠した当社試験(高さ 200 cmから厚 さ 5 cmの合板上へ落下)をパスしています。^{**2}

なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象で はありません。

- ※1 米国国防総省の試験方法の規格です。 高さ122 cmから26方向(8角、12稜、6面)の落下試験を、5台のセットを使って、 合計5台以内でパスする試験です(試験中に不具合が生じたときは、新たな5台の セットを使って、合計5台以内で試験します)。
- ※2 レンズプロテクターまたは水中用レンズプロテクター装着時。

防水/防じん性能について

JIS保護等級 IP68 に相当し、水深 10 m で 60分まで撮影できます。※

- ※ 当社の定める使用方法で、指定圧力の水中で指定時間使用できるという意味です。
 - 本製品の防水性能は、真水(プール、河川、湖など)と海水のみを対象としています。
 - 本製品の内部は防水仕様ではありません。浸水すると部品がサビつくなど修 理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

▶ クリーニングするときのご注意

- マイクの孔やスピーカーの孔などを、尖ったもので突かないでください。カメラの内部を損傷すると、防水性能を失います。
- クリーニング時はベンジンなどの薬品、石けん、中性洗剤などを使わないでください。

🕤 はじめに

<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について

xii

耐衝撃性能、防水/防じん性能についてのご注意

- 本製品を落としたり、岩など硬いものにぶつけたり、水面に投げたりしない。
- 水中で本製品に衝撃を与えない。
 - 本製品に急流や滝などの強い水圧をかけないでください。
 - 本製品を水深10mより深いところに持ち込まないでください。
 - 水中ではカメラを落下させないようにご注意ください。本製品は水に浮きません。
- 水中で60分以上連続して使わない。
- ぬれたメモリーカード、電池をカメラに入れない。
 カメラや手がぬれた状態でカバーを開閉しないでください。浸水や故障の原因になります。
- 水中で電池/メモリーカードカバーを開閉しない。
- カメラの外側や電池 / メモリーカードカバーの内側に水滴などの液体が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取る。
 - カメラの外側や電池 / メモリーカードカ バーの内側に異物が付着したら、すぐにブ ロアーや柔らかい布などで取り除いてく ださい。
- 本製品を寒冷地での低温下、または、40 ℃ 以上の高温下に長時間放置しない。
 - 防水性能が劣化します。
 - 水温0℃から40℃の範囲内でお使いください。
- 温泉では使用しない。

水中で使用する前のご注意

水中で使用するときには以下を実施してください。

- 電池/メモリーカードカバーの内側に異物が付着していないか確かめる。
- 電池/メモリーカードカバーの防水パッキンにひび割れや変形がないか確かめる。
 防水パッキンが外れたりしていないかもお確かめください。
- 電池/メモリーカードカバーを確実に閉じたか確かめる。
 - 電池/メモリーカードカバーロックレバーがLOCK位置にあることも確かめて ください(凹7)。



🕤 はじめに

<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について

xiii

使用温度と湿度、結露について

このカメラは、-10℃~+40℃での動作確認をしています。 寒冷地や標高の高い山では、以下にご注意ください。

- 電池の性能が一時的に低下します。カメラや予備電池は、衣服の内側に入れる など、保温しながらお使いください。
- カメラが冷え切っていると、電源をONにした直後は画像モニターが通常よりも 少し暗かったり、残像が出たりするなど、性能が一時的に低下することがあり ます。

● 結露しやすい環境について

以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズや水 中用レンズプロテクターの内側、画像モニターの内側がくもる(結露する)場合 があります。本機の故障や不具合ではありません。

- 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
- 寒冷地から屋内などの温かい場所に持ち込む
- 湿度が高い環境で、電池/メモリーカードカバーを開閉する
- 本体や水中用レンズプロテクターが水にぬれた状態で水中用レンズプロテク ターを装着する

● 結露しにくくするには

- 電池/メモリーカードカバーを開けた状態にしたカメラと、市販の乾燥剤をビニー ル袋などに入れて密閉してください。カメラ内部の湿度を下げると、結露しにく くなります。
- 水中で使用する前には、カメラの温度が高くなる場所(直射日光が当たる場所 など)を避けて保管してください。カメラの温度が高い状態で水中に入れると、 急激な温度変化により結露発生の原因になります。

● くもりを取る方法

- 高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所で、電源をOFFにしてから電池/メモリーカードカバーを開ける。
 電池とメモリーカードを取り出し、カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませると、レンズや画像モニターのくもりが取れます。水中用レンズレンズプロテクターがくもっているときは、水中用レンズレンズプロテクターを取り外してください。
- 水中用レンズプロテクターのくもりが取れにくい場合は、水中用レンズプロテクターを外して、カメラをしばらく動作させてから取り付けるとくもりが取れることがあります。



xiv

<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について



リモコンの防水性能について

リモコンの防水性能はJIS保護等級IPX7に相当し、水深1mに30分浸しても浸水しないことを確認しています。

- 水中では使用できません。

リモコンの防水性能、結露についてのご注意

- 本製品を落としたり、岩など硬いものにぶつけたり、水面に投げたりしない。
- 故意に水の中に入れない。
 - 誤って水の中に落としたときは、すぐに拾って柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- ぬれた電池を本製品に入れない。
 - リモコンや手がぬれた状態で電池室カバーを開閉しないでください。浸水や 故障の原因になります。
- リモコンの外側や電池室カバーの内側に水滴などの液体や異物が付着したら、 すぐに柔らかい乾いた布でふき取る。
- 電池室カバーを確実に閉じたか確かめる。
 - CLOSEの位置にあることも確かめてください。
 - 糸くずなど細かい異物を挟み込まないようご注意ください。浸水の原因になります。
- ・本製品を寒冷地での低温下、または、40℃以上の高温下に長時間放置しない。
 防水性能が劣化します。
- リモコンが冷えた状態で、急に湿度が高い環境に持ち込まない。
 - 結露が起きて、リモコン内部に水滴がつくことがあります。

点検・修理について

- 本製品に衝撃が加わったら、ご購入店かニコンサービス機関にご相談のうえ、
 防水性能の点検(有料)をおすすめします。
- 防水パッキンが劣化していると思われるときはご購入店かニコンサービス機関 にご相談ください。防水パッキンの防水性能は1年以上すると劣化することがあ ります。
- カメラ内部へ浸水した場合はただちに使用を中止し、すみやかにニコンサービス機関へお持ちください。



ら はじめに

<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について

хv

目次

見たいページを探す	ii
目次項目から探す	ii
目的から探す	ii

スマートフォン / タブレットをお使いの方へ...... iii

はじめに	v
はじめにお読みください	v
本書の記載について	v
カスタマー登録のお願い	v
ご確認ください	vi
安全上のご注意	viii
<重要>耐衝撃性能、防水 / 防じん、結露について	xii
耐衝撃性能について	xii
防水/防じん性能について	xii
耐衝撃性能、防水/防じん性能についてのご注意	xiii
水中で使用する前ので注意	xiii
使用温度と湿度、結露について	xiv
リモコンの防水性能について	xv
リモコンの防水性能、結露についてのご注意	
白栓・修理について	xv
MUX PETCE C	

各部の名称	1
ー ニー・ニー・ カメラ本体	2
画像モニターの表示内容	4
撮影画面の表示内容	4
再生画面の表示内容	5

. 6
7
8
8
9
10
11
11
14
15



カメラを使ってみよう	17
動画または静止画を撮影する	18
動画または静止画を再生する	19
画像をスマートフォン/タブレットに送信する	19
アクセサリーを使う	21
リモコンを使う	21
シビコンで次フ	21
(x, y,	20
レクスクロテラク 、小平用レクスクロテラク を使う	20
	30
動画	31
動画撮影中の操作	32
動画撮影中に静止画を記録する	34
動画撮影中にタグを記録する(ハイライトタグ)	34
動画撮影モードを選ぶ	35
☞ 通常動画	37
★2000年10月1日 ●第20日	38
₩○11	40
ホロションロート 前 並ら 「「「」」「「」」「」」「」「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」	41
で、 一つ動画	42
ステルシーン 330回	44
も の して して の 場作	46
動画ウエヤの末1F	10 10
到回り柵来 提影時に知っ合わせて店った!)	51
10分可に起い口りとことへんい成化	51
テレビ、パソコンとの接続	53
画像の活用方法	54
テレビで鑑賞する	55
パソコンに画像を取り込む	
(KevMission 360/170 Utility)	56
KevMission 360/170 Utilityをインストールする	56
パリコンに画像を取り込む	56
メニューを使う	58
メニューの操作方法	59
メニュー項目一覧	61
動画メニュー	61
静止画メニュー	61
撮影パラメーター設定メニュー	62
本体設定メニュー	62
再生メニュー	63





動画メニュー	64
動画撮影モード	64
動画設定	65
NTSC/PAL設定	66
電子式手ブレ補正	66
風切り音低減	. 67
静止画メニュー	68
静止回	68
	69
水中撮影	69
ホワイトバランス (色合いの調整)	69
ピクチャーカラー	70
露出補正	70
	.70
本体設定メニュー	71
日時設定	71
〒 1960年 千二夕一設定	.72
操作音	73
オートパワーオフ	74
カードの初期化 (フォーマット)	75
動画撮影中設定	.75
ジニコメニット 1000	76
	.76
上ED 輝度設定	.76
	.77
言語 儿anguage	.77
位置情報	.78
設定クリアー	.78
2012年1月11日 認証マークの表示	78
バージョン情報	.79
通信メニュー	. 80
ーニー 再ペアリング	. 82
再生メニュー	85
▶動画再生	85
☑ 動画編集	85
	85
▲●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	. 86
 回 プロテクト	86
 夕戻る	86
5 米1	87

資	料	87
	無線通信機能についてのご注意	. 88



取り扱い上のご注意	
カメラについて	
電池について	
本体充電ACアダプターについて	
メモリーカードについて	
お手入れ方法	
水中で使用後のクリーニング	
水中以外で使用後のクリーニング	
保管について	
警告メッセージ	
故障かな?と思ったら	
記録データのファイル名	103
使用できるアクセサリー	104
主な仕様	107
索引	
ニコンプラザのご案内	116
修理サービスのご案内	117





各部の名称

カメラ本体	 2
画像モニターの表示内容	 4





カメラ本体





1	状態表示ランプ(前面側)	
•		76
2	静止画ボタン	.18
3	動画ボタン	18
4	スピーカー	
5	レンズプロテクター	28

6	レンズ
7	三脚ネジ穴108
8	Nマーク(NFCアンテナ部) 12
9	マイク





1	画像モニター4
2	状態表示ランプ(背面側) 30、76
3	電池/メモリーカードカバー 7
4	電池/メモリーカードカバー開 閉レバー7
5	電池 / メモリーカードカバー ロックレバー7
6	脱落防止用ひも取り付け部
7	▲ (I□Iモニター) ボタン 11、18、59
8	▼(▶再生)ボタン

9	🞯 (決定)ボタン11、59
10	HDMIマイクロ端子(Type D) 54
11	Micro-USB端子54
12	電池ロックレバー7
13	防水パッキン
14	電池室7
15	メモリーカードスロット7



カメラ本体

画像モニターの表示内容

撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。 初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します([モニター 設定](□272)→[モニター表示設定]→[情報オート]時)。

撮影画面の表示内容



電池残量表示について

- ・
 ・
 ・
 カメラの電池残量はあります。
- 「二:カメラの電池残量が少なくなりました。
- 🎛 🔲 : 外部バッテリーの電池残量はあります。*
- 📴 🖬 : 外部バッテリーの電池残量が少なくなりました。**
- ** 別売のウォータープルーフケース WP-AA1 にバッテリーを増設しているときに表示 されます。



6 各部の名称

画像モニターの表示内容

再生画面の表示内容



- 動画再生モード......46
 ループ動画再生モード......42
- 3 プロテクト.....86
- 4 動画の再生時間
 - 5 画像の番号/全画像数
 - 6 動画設定......65



画像モニターの表示内容

撮影の準備

電池とメモリーカードを入れる	7
電池を充電する	9
電源を ON にして、カメラをセットアップする	11













- 電池/メモリーカードカバーロックレバー(①)のロックを解除し、電池/メモリーカードカバー開閉レバーを (④) (②)、電池/メモリーカードカバーを手前に開きます(③)。
- 電池は、+と-を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをずらしながら(④)、奥まで差し込みます(⑤)。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます(⑥)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、カメラやメモリーカードの故障や 破損の原因になりますので、ご注意ください。
- カバーを閉じてから(⑦)、電池/メモリーカード開閉レバーを▶⊖位置にして (⑧)、電池/メモリーカードカバーロックレバーをLOCK位置にします(⑨)。開 閉レバーとロックレバーのオレンジ色の指標が見えていないことを確認してく ださい。

▶ 防水と防じんについてのご注意

「耐衝撃性能、防水/防じん性能についてのご注意」→□xiii

▶ メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラ で初期化してください。

- メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。
 初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- ・メモリーカードをカメラに入れ、
 (セットアップ)メニューの [本体設定] (□59)
 の [カードの初期化]を選びます。



ら 撮影の準備

電池やメモリーカードを取り出すときは

電源をOFFにして、状態表示ランプと画面の消灯を確認してから、電池/メモリー カードカバーを開けます。

- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていること がありますので、ご注意ください。

使用できるメモリーカード

microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカード、およびmicroSDXCメモ リーカードが使用できます。

- UHS-Iに対応しています。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のmicroSDXCメモリーカードをお使いください。
 - 動画のサイズ/フレームレートが [2160/30p] (4K UHD) または [2160/25p] (4K UHD) のときは、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをお使いく ださい。
 - 転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーに お問い合わせください。



雷池を充電する



- 電池を入れたカメラを、図のように家庭用コンセントに接続すると充電が始まります。充電中は状態表示ランプが緑色でゆっくり点滅します。
- 充電が終わると、状態表示ランプが消灯します。コンセントから本体充電ACア ダプターを外し、USBケーブルを外してください。
 充電時間は、残量がない電池の場合、約3時間です。
- 状態表示ランプが緑色で速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
 - 充電可能な温度ではない。
 - USBケーブルまたは本体充電ACアダプターが正しく接続されていない。
 - 電池に異常がある。

V USBケーブルについてのご注意

- プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。

▶ 充電中の電源ONについて

本体充電ACアダプターの接続中に動画ボタン、または静止画ボタンを押すと、電源が ONになり、動画や静止画の撮影と再生、およびメニューの操作ができます(一部のメ ニューの操作に制限があります)。



電池を充電する

電源のON/OFFについて

電源をONにする

- 動画ボタンまたは静止画ボタンを押すと、カメラの 電源がONになり、撮影画面が表示されます。
- 電池残量は、画像モニター(□14)や SnapBridge 360/170アプリの画面で確認できます。



電源をOFFにする

- ・ 電源がONのときに動画ボタンを3秒以上長押しすると、電源をOFFにできます。
- ・以下の操作でも、電源をOFFにできます。
 撮影画面にする→ ⑩ボタン → ▲ ▼ボタンで① (電源OFF)を選ぶ → ⑬ボタン
- 撮影後にカメラを操作しない状態が約30秒続くと、電源が自動でOFFになります(初期設定)。設定は、
 (セットアップ)メニュー(□159)の[本体設定]の[オートパワーオフ]で変更できます。

🖉 オートパワーオフの設定について

- 電池のみで動作している場合、操作しない状態が続くと、オートパワーオフの設定に 関わらず、決められた時間で電源がOFFになります。
 - 電源ON後(撮影開始前):1分
 - メニュー操作、または再生モードでの操作後:3分
 - 通信メニュー [スマートフォンと接続] でNFC接続待機中: 30分
 - 通信メニュー [**リモコンとの接続**] で接続待機中:3分
 - HDMIケーブル接続中(無信号の場合):30分
 - USBケーブル接続中(データ送受信がない場合):30分
- 以下の場合は、オートパワーオフしません
 - ACアダプター EH-62F 接続中
 - パソコンとの接続中

▶ リモート撮影中の電源OFFについて

SnapBridge 360/170アプリでリモート撮影中は、カメラのボタンは無効になります。電源をOFFにしたいときは、リモート撮影を終了してください。 リモート撮影の詳細については、SnapBridge 360/170アプリのオンラインヘルプをご覧ください。



電池を充電する



電源をONにして、カメラをセットアップする

スマートフォン/タブレットを使う場合

カメラとスマートフォン/タブレット(以下、「スマートフォン」と表記します)を Bluetoothで接続する設定を、ここでは「ペアリング」と呼びます。

● カメラ

- 空き容量のあるmicroSDメモリーカードを入れます。
- 途中で電源が切れないよう、十分に充電されていることを確認します。
- スマートフォン
- 「SnapBridge」と「SnapBridge 360/170」の2種類のアプリが ありますが、このカメラとのペアリングには、「SnapBridge 360/ 170」をお使いください。



- スマートフォンのBluetooth設定画面からはペアリングしないで ください。
- カメラの電源がOFFになっている(画面が消灯している)ことを確認する
 - カメラの電源をOFFにするには、動画ボタンを3秒以上長押しします。→「電源のON/OFFについて」(□10)
- 2 スマートフォンのBluetoothとWi-Fiの設定を有効にする
 - NFCを使う場合:スマートフォンのNFCの設定を有効にしてください。
- 3 SnapBridge 360/170アプリをインストールする
 - SnapBridge 360/170アプリをインストール後、NFCを使うすべてのアプリ (SnapBridge 360/170アプリを含む)を終了してください。NFCを使うアプ リが動作していると、ペアリングに失敗することがあります。

4 動画ボタン、または静止画ボタンを押し、カメラの電源をONにする

 言語選択の画面が表示されます。背面の▲▼で言語を選び、∞ボタンを押して 決定します。

「SnapBridge 360/170アブリ使い方動画」について 下記のウェブサイトで、SnapBridge 360/170アプリのペアリングや基本操作などを動 画で分かりやすく紹介しています。 http://imaging.nikon.com/lineup/action/keymission_170/index.htm#movie



電源をONにして、カメラをセットアップする



Ŧ

SnapBridge 360/170を アプリのストアで検索

してダウンロードし てください。

ダウンロードしたら

アプリを

- 6 NFC を使わない場合は、▼ で画面をスク ロールして [次へ] を選び、® ボタンを 押す
 - カメラに右の画面が表示されます。画面をスク ロールするとアプリ名とカメラ名が表示されま す。
 - 状態表示ランプが赤と緑で交互に点滅し、カメラ がペアリング待機状態になります。
 - NFCを使う場合:
 手順6で (次へ) を選ぶ前に、スマートフォンのNFCアンテナ部を、カメラのN (N マーク) にタッチします (CQ2)。スマートフォンのSnapBridge 360/170アプリが 起動し、画面に [カメラ名の取得ができました。接続を切り替えますか。] と表示 されたら、[OK] を選びます。手順8に進んでください。

7 スマートフォンのSnapBridge 360/170アプリを起動する

- スマートフォンに右の画面が表示されたら、カメラ名をタッ チしてください。
- iOSの場合:

5

カメラ名をタッチした後にアクセサリーの選択画面が表示されたときは、スマートフォンの画面右上の
SBluetoothマークが白色から灰色に変わってから、カメラ名をタッチしてください。カメラ名が表示されるまでに時間がかかることがあります。





電源をONにして、カメラをセットアップする

8 認証コードを確認する

- カメラの画面とスマートフォンの画面に同じ認証コードが表示されていることを確認します。
- カメラとスマートフォンを、同じタイミングで以下のように 操作してください。



- カメラ:▼で画面をスクロールして [**OK**] を選び、**®**ボタンを押します。
- スマートフォン: [ペアリング] をタッチします(ボタン名はスマートフォンの機種によって異なることがあります)。
- 9 画面の指示に従ってペアリングを完了する
 - カメラ:ペアリングに成功すると、右の画面が表示されます。▼で画面をスクロールして「次へ]
 を選んで®ボタンを押してください。
 - スマートフォン:画面の指示に従って操作してく ださい。



10 カメラの画面に従ってセットアップを完了する

- [位置情報をスマートフォンから取得しますか?]で[はい]を選ぶと、撮影画像に位置情報が記録されます。SnapBridge 360/170 アプリとスマートフォン本体の位置情報機能を有効にしてください。
- [日時をスマートフォンと同期させますか?] で[はい]を選ぶと、カメラの内 蔵時計を自動で設定できます。SnapBridge 360/170 アプリの時刻の同期を有効 にしてください。
- セットアップが完了すると、撮影画面になります。
- 「SnapBridge活用のヒント」(□15)をご覧ください。

✔ 無線通信が禁止されている場所で、通信機能をOFFにする

カメラの通信メニューで [機内モード] を [する] にしてください。スマートフォンと の常時接続も一時的に切断されますが、[しない] に戻すと自動的に再接続します。



電源をONにして、カメラをセットアップする



スマートフォン/タブレットを使わない場合

日時を手動で設定します。

- 動画ボタン、または静止画ボタンを押し、カメラの電源をON にする(□10)
 - 言語選択の画面が表示されます。背面の▲▼で言語を選び、◎ボタンを押して 決定します。
 - 言語は¥(セットアップ)メニューの [本体設定](□59)の [言語/Language] で変更できます。

î

SnapBridgelt

诵信メニューで後から

設定

後で

でも設定できます。

- 2 右の画面が表示されたら、▲▼で [後で] を選び、®ボタンを押す
 - 右の画面は、▼で下までスクロールすると表示されます。
 - ・ 画面に
 [日時を設定しますか?]
 と表示されたら、
 [はい]
 を選びます。
- 3 ▲▼で日付の表示順を選び、®ボタンを押す
- 4 日付と時刻を設定して、®ボタンを押す
 - ●ボタンでカーソルを移動して項目を選び、▲▼
 で日時を合わせます。
 - カーソルを一番右まで移動して∞ボタンを押し、 設定を確認します。



5 確認画面が表示されたら、▲▼で [はい] を選び、 @ボタンを押す

• セットアップが完了すると、撮影画面になります。

日時の設定を変更するには

¥(セットアップ)メニューの [本体設定](□59)の [日時設定] で設定します。



電源をONにして、カメラをセットアップする



SnapBridge活用のヒント

カメラとスマートフォンをペアリングすると、SnapBridge 360/170 アプリのさまざまな機能が使えます。 詳しい使い方はオンラインヘルプをご覧ください。 http://nikonimglib.com/snbrkm/onlinehelp/ja/index.html SnapBridge360/170アプリの [その他] → [情報・設定] → [操作 説明] でも表示できます。

撮影画像の送信について

初期設定では、カメラで撮影した画像はスマートフォンに自動で送信されます。

• スマートフォンはカメラの近くに置き、SnapBridge 360/170 アプリを起動して ください。

項目	内容
画像の自動送信を	本体設定メニュー([本体設定])([159)の通信メニュー [撮
OFFにする	影時画像送信]の[静止画]で設定します。
静止画の送信条件を 設定する	自動送信する画像の種類を、本体設定メニュー([本体設定]) (□59)の通信メニュー[撮影時画像送信]の[静止画送信条 件]で変更できます。
選んだ画像を送信す	撮影時に自動送信しなかった画像は、カメラの再生メニューの
る	✔▼ (画像送信) でスマートフォンに送信できます (□19)。
画像サイズを選択す	SnapBridge 360/170 アプリでスマートフォンに保存する画像
る	サイズを選択できます。初期設定は2Mサイズです。

▶ 画像送信についてのご注意

動画は、[撮影時画像送信] と ▲ (画像送信) では送信できません。動画をスマート フォンに取り込むには、SnapBridge 360/170 アプリを操作してください。



電源をONにして、カメラをセットアップする



項目	内容
カメラのセットアッ	カメラの通信メニュー[スマートフォンと接続]を選び、「ス
プ後にペアリングす	マートフォン/タブレットを使う場合」の手順5(〇12)から
る	設定します。
ペアリングを解除す	SnapBridge 360/170アブリの、 ○ [つながる] の●をタッチ
る	して表示される画面で、 [ペアリングを切る] をタッチします。
Wi-Fi接続について	リモート撮影やお好み画像転送などではWi-Fi接続になります。 iOSの場合は、スマートフォンの [設定] > [Wi-Fi] でカメラ のSSIDを選んでWi-Fi接続してください。 [パスワード] や [認証/暗号] はカメラの¥ (セットアップ) メニュー → [本体設定] → [通信メニュー] → [Wi-Fi] → [接 続設定] で確認できます。 パスワードの初期値は"NikonKeyMission"です。パスワードは 初期値から変更してください。
登録できるスマート	このカメラは接続するスマートフォンを最大5台登録できま
フォンの台数	す。ただし一度に接続できるのは1台のみです。

🖉 再ペアリングについて

ペアリングを解除後にもう一度ペアリングするときは、再ペアリングをしてください。 カメラの通信メニュー [スマートフォンと接続]を選び、カメラとスマートフォンの画 面に従って設定してください。

[NFCを使わない:次へを選択してください。] 画面で [次へ] を選び ◎ボタンを押した ときは、スマートフォンのSnapBridge 360/170アブリを起動してください。 ① [つな がる] の ●をタッチして表示される画面で、ペアリングするカメラの機種名をタッチし ます。カメラの画面に認証コードが表示されたら、「スマートフォン/タブレットを使う 場合] の手順8 ([2]13) 以降に従って設定してください。

SnapBridge 360/170 アプリのその他の機能について

項目	内容
リモートで撮影 する	スマートフォンでカメラのシャッターがきれます。
リモートで設定 を変更する	スマートフォンで撮影の設定などを変更できます。
カメラ内の画像 を閲覧する	カメラに保存した画像を、スマートフォンで閲覧できます(カメラ の電源がOFFのときも閲覧できます)。スマートフォンで画像を指 定して、カメラから送信することもできます。



16

√ 撮影の準備

電源をONにして、カメラをセットアップする

カメラを使ってみよう

動画または静止画を撮影する	18
動画または静止画を再生する	
画像をスマートフォン / タブレットに送信する	
アクセサリーを使う	
状態表示ランプについて	


動画または静止画を撮影する

- 1 動画ボタン、または静止画ボタンを押す
 - 電源がONになり、撮影画面が画像モニターに表示されます。



2 動画は動画ボタン、静止画は静止画ボタンを押して撮影する

 動画撮影を終了するには、もう一度動画ボタンを押します。 撮影した動画や静止画はメモリーカードに保存されます。

▶ 水中での使用について

- 水中で使用するときは、水中用レンズプロテクターを取り付けてください(□28)。
 水中用レンズプロテクターを取り付けないと、ぼやけた画像になります。
- ・
 ¥(セットアップ)メニューの[撮影パラメーター設定]の[水中撮影]を[する]に 設定してください(□159)。
- 水中では画角(写る範囲)は狭くなります。
- 水中では無線通信はできません。リモコンも使用できません。

モニターの消灯・点灯について

- 撮影画面が表示されているときに▲(□ モニター)ボタンを押すと、モニターを消灯・点灯できます。
- 動画撮影を開始して30秒過ぎるとモニターが自動で消灯します(初期設定)。動画撮影中は▲(□モニター)ボタンは使えません。モニターが消灯するまでの時間は¥(セットアップ)メニューの[本体設定]の[動画撮影中設定]の[LCD自動消灯]で変更できます。

🖉 カメラの電源OFFについて

初期状態では、動画または静止画を撮影完了してカメラを30秒間操作しなければ、自動 で電源がOFFになります(口10)。

4 GBを超える動画について

4 GBを超える動画を撮影すると、複数のファイルに分割して記録します。1ファイルのファイルサイズは最大4 GBです。



動画または静止画を撮影する

18

動画または静止画を再生する

水中用レンズプロテクターに指紋などの汚れがあると、汚れが画像に写り込みま す。撮影前に、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。

1 ▼ボタンを押す

- 電源がOFFのときは、この操作の前に動画ボタン、または 静止画ボタンを押して電源をONにします。
- 画像モニターには、最後に撮影した画像または動画の1フレーム目が表示されます。

2 ▲▼で再生したい画像を表示する

- ▲▼を長押しすると、画像が早く切り換わります。
- 動画を再生するには、ここで
 ・ ボタンを押して
 ・ (再生)
 を選びます。
- カメラ本体で動画編集もできます(□48)。



画像をスマートフォン/タブレットに送信する

撮影後に画像を送信するときは、スマートフォン側でSnapBridge 360/170 アプリを起動し、カメラ側で次の操作を行います。

1 ▼ボタンを押す

- 電源がOFFのときは、この操作の前に動画ボタン、または 静止画ボタンを押して電源をONにします。
- 画像モニターには、最後に撮影した画像または動画の1フレーム目が表示されます。





動画または静止画を再生する





2 ▲▼で送信したい静止画を表示する

- ▲▼を長押しすると、画像が早く切り換わります。
- カメラからの操作では、動画は送信できません。動画を送 信するには、SnapBridge 360/170 アプリを操作してくださ い。
- 3 ®ボタンを押し、再生メニューを表示 する
- 4 ▲▼で★▼ (画像送信)を選び、®ボタンを押す
 - この手順で面(削除)を選ぶと、表示されている 画像を削除できます。
- 5 [はい]を選び、®ボタンを押す
 - 画像がスマートフォンに送信されます。



画像をスマートフォン/タブレットに送信する



再生メニュー





Ół



アクセサリーを使う

カメラに付属のアクセサリーの使い方や機能について説明します。

リモコンを使う

リモコンML-L6を使うと、遠隔操作で動画、静止画の撮影やハイライトタグの挿 入などができます。カメラの電源をONにすることもできます。

リモコン各部の名称と機能





	操作部	機能	
1	電源ボタン	電源ボタンを押すと、リモコンの電源がONになり、 もう一度押すとOFFになります。 カメラの電源をOFFにすることもできます。	_
2	Fnボタン	動画撮影中に押すと、以下のいずれかができます。 ・ ハイライトタグの挿入(初期設定) ・ ハイフレームレート動画に切り換え(スロー挿入 動画撮影中) Fnボタンを押したときの動作は、¥(セットアッ プ)メニュー(□59)の[本体設定]で切り換えます。	34. 38
		カメラの接続先をリモコンからペアリンク済みの スマートフォンに切り換えます。	24
3	静止画ボタン	カメラの静止画ボタンと同じ機能です。 カメラの電源のONや静止画撮影ができます。	18
4	状態表示ランプ	カメラの状態表示ランプと連動して、撮影の動作状 態を表示します。	25
5	動画ボタン	カメラの電源のONや動画撮影の開始と停止ができ ます。	18

▶ リモコンのご使用のご注意

- 水中では使用できません。
- 「リモコンの防水性能について」(□□xv)、「リモコンの防水性能、結露についてのご注意」(□□xv)をよくお読みください。



アクセサリーを使う

21



リモコンに電池を入れる

3V CR2032型リチウム電池を入れます。



- ・
 ・
 便貨などで
 (①)電池室カバーを反時計まわりに回し
 (②)、電池室カバーを開
 けます。
- 「+」と「-」の向きに注意して、電池を中央にセットします(③)。電池が電池 室の中央におさまっていることを確認してください(④)。
- 電池室カバーの●・をリモコンの●に合わせて置き(⑤)、電池室カバーを親指で押し込みます(⑥)。電池室カバーは時計まわりに少し回転した位置で止まります(⑦)。
- ・ 硬貨などで電池室カバーを時計まわりに回します(⑧)。電池室カバーの●・が リモコンの●の位置に来るまでしっかり回してロックします(⑨)。
- 電池室カバーを閉じるときは、糸くずなど細かい異物を挟み込まないようご注意ください。防水性能が損なわれ、浸水の原因になります。







カメラとリモコンをペアリングする

はじめてリモコンを使うときには、カメラとのペアリングが必要です(カメラに 付属のリモコンは出荷時にペアリング済みです。以下の設定は必要ありません)。 ※ カメラとリモコンをBluetoothで接続する設定のことを、ここではペアリングと言い ます。

リモコンは1台のカメラにつき1個のみペアリングできます。別のリモコンを登録すると、最後に登録したリモコンのみ有効になります。

1 カメラをペアリング待機中にする

- 撮影画面にする → @ ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → @ ボタン → 本体 設定 → @ ボタン → 通信メニュー → @ ボタン → リモコンとの接続 → @ ボタン
- 2 リモコンの電源ボタンを長押し(3秒以上)する
 - カメラとリモコンのペアリングがはじまります。この間、リモコンの状態表示ランプが点滅します。
 - ペアリングが完了すると、撮影画面にリモコンの アイコンが表示されます。
 - ペアリングに失敗したことを知らせるメッセージが表示されたら、手順1からやり直してください。



カメラの状態表示ランプについて

- ペアリング待機中は、カメラの状態表示ランプが緑と赤で交互に点滅します。
- ・ペアリングに成功すると、緑色で2回点滅します。
- ・ ペアリングに失敗すると、赤色で6回点滅します。







スマートフォンとリモコンを切り換える

スマートフォンとリモコンは同時に使用できません。以下の手順で切り換えてく ださい。

● スマートフォンからリモコンに切り換える

カメラの接続先をスマートフォンからペアリング済みのリモコンに切り換えま す。

1 通信メニューの [接続先切替] で [カメラとリモコン] を選ぶ

• カメラの接続先がリモコンに切り換わります。

2 リモコンの電源をONにする

 カメラとリモコンが接続されます。 撮影画面に が表示されます。



● リモコンからスマートフォンに切り換える

カメラの接続先をリモコンからペアリング済みのスマートフォンに切り換えます。

1 カメラとリモコンの電源をONにし、リモコンのFnボタンを長押し する

• カメラの接続先がスマートフォンに切り換わります。

2 スマートフォンでSnapBridge 360/170 アプリを起動する





リストバンド(別売)を使う

リモコン用リストバンドAA-13を使って、リモコンを手首などに固定できます。

✓ 下記の手順について

左手首に装着する例で説明しています。

- リストバンドにリモコン を取り付ける
 - バンドの端を面ファスナー でしっかりと固定してくだ さい(②)。





1

2

2 リストバンドを装着する

バンドの先端をバックルから引き出し
 (①)、手首に巻いたバンドに固定します
 (②)。



- 落下や誤作動の防止のため、確実に装着してください。
- リストバンドは水中に放置しないでください。

リモコンの状態表示ランプについて

カメラの状態表示ランプと同じように点灯/点滅します。

状態	色	内容	
点灯	赤	[通常動画] [動画+静止画] [タイムラプス動画] の撮影 中。[スロー挿入動画] で通常速度動画を撮影中	
点滅	赤	[スロー挿入動画]でスロー動画撮影中	
3回点滅後に点灯	赤	[スーパーラプス動画] [ループ動画] の撮影中	
1回点灯後に消灯	緑	 静止画を撮影したとき ハイライトタグを挿入したとき 	



🕤 カメラを使ってみよう

ベースアダプターとベースマウントを使う

カメラにベースアダプターを取り付けると、ベースマウントなどの専用アクセサ リーを使用できるようになります。

- ベースマウントは、粘着力を高めるために、カメラを使用する24時間以上前に 貼り付けてください。
- カメラ取り付けネジをカメラの三脚ネジ穴に合わせ(①)、カメラ取り付けノブを締める(②)



- ベースアダプターのバックルをベース マウントに取り付ける
 - バックルの2 つの突起部を同時につまみながら、カチッと音がするまで、バックルをスライドさせます。
 - バックルを外すときは、2つの突起部を同時に つまみながら、取り付けと逆の方向にスライド させます。





🕤 カメラを使ってみよう

3 カメラの角度を調整する

 ・ 雲台ロックネジを緩めて(①)、カメラの角度
 を決めてから(②)、ネジを締めます(③)。



• ほこりや水分などの異物がある場合は、取り除いてください。

5 ベースマウントの裏の剥離フィルムをはがし、ベースマウントを しっかり押しつけて表面全体が接触するように貼り付ける

ベースマウントについて

ベースマウントは、カメラを搭載したベースアダプターを簡単に着脱するアクセ サリーです。

カメラを取り付けたい場所に接着します。

接着面に応じて、平面用と曲面用を使い分けてください。

ベースマウントは車載用ではありません。車には取り付けないでください。

・ ベースマウント (平面):

平らな面に取り付ける場合に使います。

・ ベースマウント (曲面):

ヘルメットなどの曲面に取り付ける場合に使います。

✔ ベースアダプターおよびベースマウント使用時のご注意

- ベースアダプターやベースマウントは、スキー板やスノーボードに直接取り付けるなど、荷重が急激に加わるような使い方をしないでください。荷重が急激に加わると、アクセサリーが破損したり、ベースマウントの接着がはがれたりします。
- 接着したベースマウントは、はがして再利用できません。
- 接着する素材によっては、表面が壊れたり、塗装がはがれる可能性があります。取り 付ける際には、十分ご注意ください。
- ベースマウントは、木やコンクリートなど、表面に凹凸のある素材への接着には適していません。

🕤 カメラを使ってみよう







レンズプロテクター、水中用レンズプロテクターを使

レンズプロテクター[※] 正面からの衝撃に対してレンズを保護するプロテクターです。

 水中用レンズプロテクター 水中で使用するときや、砂利などがぶつかるような場面でレンズを保護するプ ロテクターです。

※ ご購入時は、カメラにレンズプロテクターが装着されています。

▶ 水中での使用について

水中で使用するときは、水中用レンズプロテクターを取り付けてください。水中用レン ズプロテクターを取り付けないと、ぼやけた画像になります。

レンズプロテクター /水中用レンズプロテクターを取り付ける

▶ 水中用レンズプロテクター取り付け時のご注意

柔らかな布やエアダスターなどでカメラや水中用レンズプロテクターに付着した水分や ごみを取り除いてください。 水分が残った状態で取り付けると、結露の原因になります。

1 レンズプロテクターとカメラの指標を合わせて、カメラにはめ込む



レンズプロテクター





28

2 レンズプロテクターを右に回して固定する

- カメラ上部の指標(〇)とレンズプロテクターの指標が合う位置(カチッという 位置)まで回してください。
- 水中用レンズプロテクターは、カメラ側に押しつけながら取り付けてください。





取り付け後のご確認について 確実に装着されていることを確認してください。

レンズプロテクター /水中用レンズプロテクターを取り外す

1 レンズプロテクターを左に回す





2 レンズプロテクターを手前に取り外す









状態表示ランプについて

状態表示ランプの表示で、カメラの状態を確認できます。

∮ 前面側、背面側の機能について

- 前面と背面の状態表示ランプは同じ表示をします。
- ・状態表示ランプの明るさは調節できます(□276)。



状態	色	内容
点灯	緑	 HDMI ケーブルでテレビに接続しています。 パソコンの認識中です。 静止画の撮影中です。
	赤	動画の撮影中です。
	緑	 充電中です。充電が完了すると消灯します。 USB ケーブルでパソコンと接続中です。 ペアリングが完了しました。
点滅	赤	 スロー挿入動画を撮影中です。 メモリーカードにアクセス中です(書き込み、または初期化中)。 ファームウェアをバージョンアップ中です。 ペアリングに失敗しました。
	緑/赤	ペアリングの待機中です(緑と赤が交互に点滅します)。
	緑	充電できません(エラー)。
速い点滅	赤	カメラの内部が高温になっています。電源が自動でOFF になります。温度が下がるまで放置してからお使いくだ さい。
点灯後に消灯 橙色 ハイライトタグを挿入したとき したときは、短時間、橙色でタ		ハイライトタグを挿入したとき、リモコンで電源をONに したときは、短時間、橙色で点灯します。

状態表示ランプについて

動画

動画撮影中の操作	32
動画撮影モードを選ぶ	35
動画再生中の操作	46
動画の編集	48
撮影時に組み合わせて使えない機能	51



動画撮影中の操作

動画撮影についてのご注意

▼ メモリーカードについて

動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のmicroSDXCメモリーカードをお使いください。

- 動画のサイズ/フレームレートが[2160/30p](4K UHD)または[2160/25p](4K UHD)のときは、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをお使いください。
- 転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

▶ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、状態表示ランプが赤色でゆっくり点滅しているときは、画像または動画の記録 中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したり しないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカー ドが壊れることがあります。

▶ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの 温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、画像モニターに高温警告を約5秒間 表示した後、自動で電源がOFFになります。この間、状態表示ランプも赤色で速い点 滅を行います。

カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

▶ 低温下での撮影についてのご注意

電池の温度が0℃未満のときは、[2160/30p]、[2160/25p]、[HS 1080/4 倍]、[HS 720/ 8 倍]の動画は撮影できません。

- ・ 撮影開始前に電池の温度が 0 ℃未満になると、[1080/30p] または [1080/25p] に 切り換わります。
- [2160/30p]、[2160/25p]、[HS 1080/4 倍]、[HS 720/8 倍] で撮影中に電池の温度が0℃未満になると、撮影を終了し、自動で電源がOFFになります。撮影した動画は保存されます。



動画

▶ 記録した動画についてのご注意

- 動画撮影中のモニターの表示に、以下のような現象が発生する場合があります。 これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体(布地や建物の格子窓など)に色の着いた縞模様(干渉縞、モアレ)が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

▶ 動画撮影時の手ブレ補正についてのご注意

[動画] の [電子式手ブレ補正] (口66) を [する] に設定すると、動画撮影時に画角 (写る範囲) が狭くなります。

▶ ボタン操作についてのご注意

動画撮影中にカメラのボタンを押すと、ボタン操作音が録音されることがあります。

🖉 動画枠について

- ・
 ¥(セットアップ)メニューの
 [本体設定]の
 [モニター設定](□172)の
 [モニター 表示設定]で
 [動画枠+情報オート]にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を 確認できます。

4 GBを超える動画について

4 GBを超える動画を撮影すると、複数のファイルに分割して記録します。1ファイルのファイルサイズは最大4 GBです。





動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、静止画記録可能アイコンが表示 されている場合は、リモコンの静止画ボタンを押 すと、1フレームを静止画として記録できます。 静止画の記録中も動画撮影が続きます。

 記録される静止画の画像サイズは2M (1920×1080)です。



▶ 動画撮影中の静止画記録についてのご注意

• 静止画が撮影できる動画撮影モードは、以下のとおりです。

- [通常動画] [ルーブ動画] (「動画設定」が [1080/30p] または [1080/60p] 、 [1080/25p] または [1080/50p] のとき)
- [スーパーラプス動画]
- 動画記録可能時間が5秒未満の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、なめらかに再生されない場合があります。

動画撮影中にタグを記録する(ハイライトタグ)

動画の撮影中にリモコンのFnボタンを押すと、タグを記録できます(初期設定)。 記録したタグを目印に、見たい場面を探したり(□146)、タグを中心にしたダイ ジェスト動画を作成したりできます。カメラで編集(□148)時も、目印になります。

▼ Fnボタンの動作について

♀ (セットアップ)メニューの [本体設定]の [リモコンFnボタン] が [ハイライトタ グ挿入] に設定されていることを確認してください (□76)。

▶ 動画撮影中のタグ記録の制限について

- スーパーラプス動画、およびタイムラプス動画の撮影中は、タグは記録できません。
- 1回の動画撮影中に30個まで記録できます。

🖉 カメラからの操作について

カメラのボタンを使って動画撮影中に静止画記録をしたり、タグを記録できるように設定できます(ロ75)。



動画撮影モードを選ぶ

動画には、以下の撮影モードがあります。

- 「栗スロー挿入動画(□38) 撮影中にリモコンのFnボタンを使って、スロー動画(ハイフレームレート動 画)の撮影に切り換えられます。スロー動画で撮影された箇所はスローモーショ ンで再生され、特別なシーンを効果的に演出できます。
- 「〒〇動画+静止画(□140) 動画を撮影しながら、一定の間隔で静止画を撮影します。
- **芯スーパーラプス動画(**□141) 動画を撮影し、早送り動画([1080/30p] または [1080/25p])にして記録し ます。カメラを移動させながら撮影し、被写体の移り変わりを時間短縮して記 録するのに適しています。
- 「果ウルーブ動画(□142)
 設定した時間まで動画を記録すると、記録した動画を先頭から消去しながら新しい動画の記録を続けます。メモリーカードには、設定時間分の最新データが残ります。動画は5つに分割して記録され、カメラで再生すると連続して再生されます。
- ・ ○タイムラブス動画(□144) 静止画を一定間隔で自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を早送り動画 にして記録します。

▶ 動画撮影モードについてのご注意

撮影モードによって、組み合わせて使えない機能があります(◯◯51)。





🖉 リモコンの操作について

 動画撮影中にリモコンのFnボタンを押すと、タグ(ハイライトタグ)の記録、または ハイフレームレートへの切り換えができます。実行できる動作は、動作モードによっ て異なります。

動画撮影モード	ハイライトタグの記録	ハイフレームレートへの 切り換え
₹ 「 元 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	0	×
県スロー挿入動画	0	0
常●動画+静止画	0	×
芯スーパーラプス動画	×	×
♥♥ の ループ 動画	0	×
「ゆタイムラプス動画	×	×

Fnボタンの機能は、¥(セットアップ)メニューの [本体設定]の [リモコンFnボタン] (□76) で設定してください。



霥通常動画

¥(セットアップ)メニュー(□59)の各種設定に従って、基本的な動画を撮影します。

撮影画面にする → ∞ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ∞ボタン → 動画 → ∞ボタン → 動画撮影モード → ∞ボタン → 通常動画→ ∞ボタン

▶ ■ 通常動画を撮影する

- 1 動画ボタンを押して撮影を開始する
 - 動画の撮影を開始します。



2 動画ボタンを押して撮影を終了する

通常動画モードの撮影中の操作について ハイライトタグや静止画を記録できます(□34)。



「アスロー挿入動画

撮影中にリモコンのFnボタンを使って、スロー動画(ハイフレームレート動画) の撮影に切り換えられます。スロー動画で撮影された箇所はスローモーションで 再生され、特別なシーンを効果的に演出できます。あらかじめ、¥(セットアッ プ)メニューの[本体設定]の[リモコンFnボタン]を[スロー挿入切替]に設 定してください(□276)。

撮影画面にする → ®ボタン → ¥(セットアップ)アイコン → ®ボタン → 動画 → ®ボタン → 動画撮影モード → ®ボタン → スロー挿入動画 → ®ボ タン

▶ 果スロー挿入動画を撮影する

- 1 動画ボタンを押して撮影を開始する
 - 基本的な動画の撮影が開始されます。
 - 画面下中央にフレームレートが表示されます。
- スロー動画を挿入するシーンでリモコン のFnボタンを押す
 - ハイフレームレートでの撮影に切り換わります。





- 3 スロー動画の挿入を止めるシーンでリモコンのFnボタンを押す
- 4 動画ボタンを押して撮影を終了する

▶ スロー挿入動画モードについてのご注意

- 動画撮影中に静止画ボタンを押しても、静止画は記録できません。
- スロー動画で撮影された個所は、音声が記録されません。



動画撮影モードを選ぶ

38

撮影時間と再生時間について

スロー動画のフレームレートは [動画設定] によって異なります。

- [1080/30p] または [1080/60p] に設定しているときは、サイズ/フレームレートが 1080/120pのスロー動画に切り換わります。
- [1080/25p] または [1080/50p] に設定しているときは、サイズ/フレームレートが 1080/100pのスロー動画に切り換わります。

例えば [1080/30p] でスロー挿入動画にすると4倍速で撮影されます。この動画は、4 倍の時間をかけて、スローモーションで再生されます。

🖉 スロー挿入動画モードの撮影中の操作について

ハイライトタグ(口34)を記録できます。



【■●動画+静止画

動画を撮影しながら、一定の間隔で静止画を撮影します。

撮影画面にする → ®ボタン → ¥(セットアップ)アイコン → ®ボタン → 動画 → ®ボタン → 動画撮影モード → ®ボタン → 動画+静止画 → ®ボタ ン

「▼●動画+静止画を撮影する

- ▲▼で静止画の撮影間隔を選び、 @ ボタンを押す
 - 静止画を撮影する間隔は [5秒] (初期設定)、[10 秒]、[30秒]、[60秒] から選びます。



2 動画ボタンを押して撮影を開始する

動画の撮影が開始されます。同時に、設定した撮影間隔で静止画も記録されます。



3 動画ボタンを押して撮影を終了する

▶ 動画+静止画モードについてのご注意

動画撮影中に静止画ボタンを押しても、静止画は記録できません。

✓ 動画+静止画モードの撮影中の操作について ハイライトタグ(□34)を記録できます。



動画

芯スーパーラプス動画

動画を撮影し、早送り動画([1080/30p] または [1080/25p])にして記録しま す。カメラを移動させながら撮影し、被写体の移り変わりを時間短縮して記録す るのに適しています。

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 動画 → ®ボタン → 動画撮影モード → ®ボタン → スーパーラプス動画 → ®ボタン

芯スーパーラプス動画を撮影する

- 1 ▲▼で再生倍速を選び、®ボタンを押す
 - [2倍速]、[4倍速]、[6倍速](初期設定)、[10倍
 速]、[15倍速]から選びます。
 - 初期設定の [6倍速] では、6分間撮影した場合、 1分間の動画として再生されます。
- 2 動画ボタンを押して撮影を開始する
 - スーパーラプス動画の撮影が開始されます。



15:30

2倍谏

4倍谏

6倍速

10倍谏

Ŷ

3 動画ボタンを押して撮影を終了する

スーパーラプス動画撮影中のハイライトタグについて ハイライトタグは記録できません。

✓ スーパーラブス動画モードの撮影中の操作について 静止画を記録できます(□34)。



動画撮影モードを選ぶ

41

県のループ動画

設定した時間まで動画を記録すると、記録した動画を先頭から消去しながら新しい動画の記録を続けます。メモリーカードには、設定時間分の最新データが残ります。動画は5つに分割して記録され、カメラで再生すると連続して再生されます。

 動画1ファイルの長さは、設定時間によって異なります。

設定時間	動画1ファイルの長さ
5分	1分
10分	2分
30分	6分
60分	12分

超過時間が動画1ファイルの長さに達すると、先頭ファイルを消去しながら撮影を続けます。

最終ファイルの長さが、動画1 ファイルの長さに達しないときは、そのまま保存されます。
 例:設定時間 [5分] で5分30秒撮影した場合
 1分間の動画ファイルが5つと、30秒の動画ファイルが1つ記録されます(最大6ファイル)。

撮影画面にする → ∞ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ∞ボタン → 動画 → ∞ボタン → 動画撮影モード → ∞ボタン → ループ動画 → ∞ボタン

♥の ループ動画を撮影する

1 ▲▼で動画の長さを選び、凾ボタンを押す

- 撮影する動画の長さを [5分](初期設定)、[10 分]、[30分]、[60分]から選びます。
- 「動画設定」が[2160/30p]、[2160/25p]、[HS 1080/4倍]、[HS 720/8倍]の場合は、[60分] は選べません。



- 2 動画ボタンを押して撮影を開始する
 - ループ動画の撮影が開始されます。



3 動画ボタンを押して撮影を終了する

動画

▶ ループ動画の編集について

ループ動画モードで撮影した動画は編集できません。

🖉 ループ動画モードの撮影中の操作について

ハイライトタグや静止画を記録できます(□34)。





応タイムラプス動画

静止画を一定間隔で自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を早送り動画に して記録します。

 ・
 Ý(セットアップ)メニューの
 「動画]の
 [NTSC/PAL設定]が
 [NTSC]時は、
 300コマ撮影します。
 [PAL]時は、
 250コマ撮影します。

千禾米石	撮影間隔	撮影所要時間	
作里大兒		NTSC	PAL
2秒	2秒	10分	8分20秒
5秒(初期設定)	5秒	25分	20分50秒
10秒	10秒	50 分	41分40秒
30秒	30秒	2 時間30分	2時間5分
	30秒	2時間30分	2時間5分

※ 星の動きなどに適しています。

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 動画 → ®ボタン → 動画撮影モード → ®ボタン → タイムラプス動画 → ®ボタン

応タイムラプス動画を撮影する

1 ▲▼で種類を選び、
®ボタンを押す



2 ▲▼ で露出(明るさ)を固定するかどう かを選び、凾ボタンを押す([星空]を除 く)

 [AE-Lする]にすると、1コマ目で自動露出(AE) 撮影をロックして撮影します。
 夕暮れなど、明るさの激しい変化を動画にしたい ときは[AE-Lしない]をおすすめします。



ら 動画

3 三脚などでカメラを固定する

4 動画ボタンを押して撮影を開始する

• タイムラプス動画の撮影が開始されます。



5 動画ボタンを押して撮影を終了する

✔ タイムラプス動画についてのご注意

- 電池が十分に充電されていないと、最後まで撮影できないことがあります。
- タイムラプス動画では、三脚などでカメラを固定して撮影してください。
- 音声は記録されません。
- ハイライトタグや静止画は記録できません。



動画再生中の操作

撮影画面(□4)で▼(▶再生)ボタンを押すか、 または**合**(HOME) 画面で、 ▶ (再生) を選び、 🕅 ボタンを押すと再生モードになり、再生画面(□5) が表示されます。

再生画面で∞ボタンを押すと、再生メニューが表示 されます。

動画の場合は、再生メニューで▶(動画再生)を選 び、 @ ボタンを押すと、動画が再生されます。動画 の再生中は、▲▼でアイコンを選び、∞ボタンを押 すと以下のことができます。

動画再生時間バー	動画再生の進行状態を表示します。タグが記録された動 画では、タグの位置に目印(棒状の線)が表示されます。	
■(停止)	動画再生を終了します。	
¶◀◀(タグ戻り)	ひとつ前のタグに戻ります。	
◀(巻き戻し)	動画を巻き戻します。∞ボタンを押すごとに、速度が1 倍速、2倍速、4倍速、8倍速に切り換わります。8倍速の 次は1倍速に戻ります。	
▋】(一時停止)	動画再生を一時停止します。一時停止すると画面下部の アイコンが変わり、コマ送り、コマ戻し、画面の編集、 表示中のフレームの保存ができます(□147)	



再生画面



再生メニュー





▶ (早送り)	動画を早送りします。∞ボタンを押すごとに、速度が2 倍速、4倍速、8倍速に切り換わります。8倍速の次は1倍 速に戻ります。	
▶▶¶(タグ送り)	ひとつ後のタグに進みます。	
●泖(音量)	音量調整の画面に変わります。音量は▲▼で調節します。	

一時停止中の画面の操作

ー時停止中の画面では、▲▼でアイコンを選び、 ・ び タンを押す操作で以下の操作ができます。



■(停止)	再生画面に戻ります(囗5)。
◀Ⅱ(コマ戻し)	表示中のフレームを1コマ戻します。 このアイコンの選択中に®ボタンを押し続けると 連続でコマ戻しします。
▶(再生)	表示しているフレームから動画再生を再開します。
┃▶(コマ送り)	表示中のフレームを1コマ送ります。 このアイコンの選択中に®ボタンを押し続けると 連続でコマ送りします。
苡(編集)	動画の編集モードになります(〇48)。
🔊(フレーム保存)	表示中のフレームを静止画として保存します。 テレビ画面で再生中も静止画を保存できます (印55)。





動画の編集

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

▶ 動画編集時のご注意

動画の編集をするときは、編集中に電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。電池残量が (□の場合は編集できません。

ハイライトタグを記録した動画について

ハイライトタグを記録した動画の場合は、〇〇(動画編集)メニューに入ると、動画編集 選択画面が表示されます。ここで [**ハイライト動画作成**]を選ぶと、各タグの前後2.5秒 が音声付きで切り出され、それらをまとめたひとつのダイジェスト動画として別ファイ ルに保存されます。

再生画面にする → 編集する動画を選ぶ → ®ボタン → 隊(動画編集) → ® ボタン

🖉 動画編集への入りかたついて

動画の再生中に一時停止すると、隣(編集)アイコンが表示されます。このアイコンを 選び、∞ボタンを押しても動画を編集できます(□147)。



∮ (タグ)	●/・(トリム位置移動)で「タグ選択」を選択した場合に左上に表示されます。	
動画再生時間バー	 画面上部に表示されます。編集中の範囲と状態を表示します。 タグが記録された動画では、タグの位置に目印(棒状の線)が表示されます。 編集の始点と終点の間は黄色で表示されます。 	

動画

動画の編集



♥∕₩(トリム位置移動)	始点と終点を選択する方法を切り換えます。 ♥タグ選択 開始点/終了点の目印が動画再生時間バーのタグの 位置に移動します。	
	任意選択 開始点/終了点の目印が動画再生時間バーの任意の 位置に移動します。	
X【(始点から設定)	動画の開始位置を選びます。	
122(終点から設定)	動画の終了位置を選びます。	
▶ (プレビュー)	編集した動画の始点から終点までを再生します。	
白(保存)	編集を保存して再生画面に戻ります。	
ち (戻る)	編集を終了して再生画面に戻ります。編集途中で選 択した場合は、編集は破棄されます。	
編集後の動画再生時間	編集後の動画の再生時間が表示されます。	

 ▲▼で Ŷ/→ (トリム位置移動)に移動し、
 ◎ ボタンを押して「タグ選択」か「任意 選択」を選ぶ



「タグ選択」を選ぶと、左上に♥が表示されます。

2 ▲▼で以【(始点から設定)に移動し、@ ボタンを押す

• 🗶 (始点から設定)を選択した状態になります。



3 ▲▼ で切り出す動画の開始位置を選び、
 ®ボタンを押す

- 開始位置より前の動画が切り取られます。
- 開始位置を決定すると、カーソルが ☎(終点から 設定)の選択状態になります。





▲ 動画
 動画の編集

ら動画 動画の編集

50



- ✓ 編集して作成された動画について
- ファイル名は、FSCNからはじまる名称になります(□103)。
- 編集して作成された動画の再編集はできません。
- 切り出した動画が保存され、再生画面に戻りま

•

¶/4⊳ XĽ 11

5 ®ボタンを押す

押す

す。

- 切り出した動画が再生されます。

6 ▲▼で凹(保存)に移動し、®ボタンを

- 4 ▲▼ で切り出す動画の終了位置を選び、 ® ボタンを押す
 - 指定した終了位置より後の動画が切り取られま す。
 - 終了位置を決定すると、カーソルが▶(プレビュー) の選択状態になります。





撮影時に組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
電子式 手ブレ補正	動画撮影 モード	 「スーパーラブス動画」にすると、「電子式手ブレ 補正」は「する」に固定されます。 「タイムラブス動画」、「スロー挿入動画」にすると、 「電子式手ブレ補正」は「しない」に固定されます。
	動画設定	[動画設定] が [1080/30p]、[1080/60p]、[1080/ 25p]、[1080/50p] のときのみ [電子式手ブレ補正] を使えます。
撮 影 パ ラ メ ー ター設定	水中撮影	[水中撮影]を[する]にすると、[ホワイトバラン ス]と[ピクチャーカラー]の設定は無効になります。
	ピクチャー カラー	[ピクチャーカラー] を[モノクローム] にすると、 [ホワイトバランス] は[AUTO(オート)]に固定さ れます
動画設定	動画撮影 モード	 「動画+静止画」や「スロー挿入動画」にしたとき、 また「ルーブ動画」の撮影する動画の長さを「60 分」にしたときは、「動画設定」は以下のいずれかしか選べません。 [1080/30p] [1080/60p] ([NTSC]のとき)または[1080/25p] [1080/50p] ([PAL]のとき) 「スーパーラブス動画」にすると、「動画設定」は [1080/30p] (NTSC のとき)または[1080/25p] (PAL のとき)に固定されます。 「タイムラブス動画」にすると、「動画設定」は [2160/30p] ([NTSC] のとき)または[2160/ 25p] ([PAL] のとき)に固定されます。
	電子式手ブ レ補正	[電子式手ブレ補正] を [する] にすると、[2160/ 30p]、[2160/25p]、[HS 1080/4 倍]、[HS 720/8 倍] は選べません。





制限される機能	設定	内容
動画撮影中の	動画撮影	 「動画+静止画」、「タイムラブス動画」、「スロー挿入動画」で撮影中に静止画ボタンを押しても、静止画撮影はできません。 「通常動画」「ルーブ動画」で撮影中は、「動画設定」が「1080/30p」、「1080/60p」、「1080/25p」、
静止画撮影	モード	[1080/50p]のときのみ静止画を撮影できます。
ハイライトタグ	動画撮影	[スーパーラブス動画] や [タイムラブス動画] で撮
記録	モード	影中は、ハイライトタグは記録できません。





テレビ、パソコンとの接続

画像の活用方法	
テレビで鑑賞する	55
パソコンに画像を取り込む	(KeyMission 360/170 Utility)56




画像の活用方法

撮影した画像は、SnapBridge 360/170 アプリ(口iii)を使って楽しむだけでなく、以下の機器とカメラを接続することで、さまざまな用途に活用できます。

テレビで鑑賞する



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。 接続方法:市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続 します。

パソコンに画像を取り込む (KeyMission 360/170 Utility)



パソコンに画像や動画を取り込んで、閲覧、編集ができます。 接続方法:USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。 ・パソコンと接続する前に、KeyMission 360/170 Utility をパソコ ンにインストールしてください。

▶ カメラにケーブルを接続するときのご注意



- プラグは形状と向きを確認して、必ずカメラの電源をOFF にしてから、まっすぐに抜き差ししてください。
- カメラの電池残量が十分にあることを確認してください。別売のACアダプター EH-62F を使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-62F以外のAC アダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。



画像の活用方法





テレビで鑑賞する

- 1 カメラの電源をOFFにし(□18)、テレビに接続する
 - プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。



- 2 テレビの入力を外部入力に切り換える
 - 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

3 カメラの電源をONにする

- 自動的に再生モードになり、画像がテレビに表示されます。
- カメラの画面は点灯しません。
- [2160/30p] または [2160/25p] で記録した動画を4K UHD画質で再生するに は、4Kに対応したテレビおよびHDMIケーブルをお使いください。



テレビで鑑賞する

パソコンに画像を取り込む (KeyMission 360/170 Utility)

KeyMission 360/170 Utilityをインストールする

KeyMission 360/170 Utilityは、画像や動画の取り込み、閲覧、編集ができる無償 ソフトウェアです。

カメラの設定を変更することもできます。

下記ウェブサイトから最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に 従ってインストールしてください。

KeyMission 360/170 Utility: http://downloadcenter.nikonimglib.com 最新情報、動作環境は、当社ウェブサイトのサポート情報でご確認ください。

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったメモリーカードを用意する

メモリーカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- パソコンのカードスロット、またはパソコンに接続した市販のカードリーダーに メモリーカードを差し込む。
- メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラ とパソコンを接続する。

カメラの電源が自動的にONになります。



▶ パソコン接続時のご注意

パソコンから電源を供給するタイプの他のUSB 機器はパソコンから取り外してく ださい。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が 過大になり、カメラ、メモリーカードなどが壊れるおそれがあります。

56

▲ テレビ、パソコンとの接続

パソコンに画像を取り込む (KeyMission 360/170 Utility)



2 KeyMission 360/170 Utilityを起動する

- カメラ内の画像が表示されます。
- メモリーカード内に大量の画像があると、KeyMission 360/170 Utilityの起動に 時間がかかる場合があります。KeyMission 360/170 Utilityが起動するまでお待 ちください。

3 取り込みたい画像を選び、 止をクリックする

• 表示された画面で、画像の保存先を選ぶと、画像の取り込みが始まります。

4 接続を解除する

- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブル ディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはメモリーカードを取り 外してください。
- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFF にしてから、USB ケーブル を抜きます。

V USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

KeyMission 360/170 Utilityの詳しい使い方は

KeyMission 360/170 Utilityのオンラインヘルプを参照してください。

🖉 ViewNX-iについて

無償のソフトウェア**ViewNX-i**でも、撮影した画像や動画のパソコンへの取り込みができ ます。

下記の当社ダウンロードセンターからダウンロードいただけます。

http://downloadcenter.nikonimglib.com



パソコンに画像を取り込む (KeyMission 360/170 Utility)





メニューを使う

メニューの操作方法	59
メニュー項目一覧	61
動画メニュー	64
静止画メニュー	68
最影パラメーター設定メニュー	69
本体設定メニュー	71
再生メニュー	85



🕤 メニューを使う

メニューの操作方法

このカメラでは、以下のメニューを設定できます。

動画メニュー^{※1、2}

静止画メニュー^{※1}

- 本体設定メニュー^{※1}
- 再生メニュー^{※3}
- 撮影パラメーター設定メニュー^{※1}

※1 ¥(セットアップ)メニューの項目です。
 ※2 メニューアイコンと設定できる項目は、撮影モードによって異なります。
 ※3 再生画面で®ボタンを押すと設定できます。

¥(セットアップ)メニューの項目は、以下の手順で設定します。

1 撮影画面で®ボタンを押す

- ・

 ・
 (HOME) 画面が表示されます。
- メニューの操作中に撮影画面に戻るには、動 画ボタンまたは静止画ボタンを押します。

a

- 2 ▲▼で¥(セットアップ)を選び、®ボタンを押す
 - ・
 ¥(セットアップ)メニューが表示されます。

3 ▲▼でセットアップ項目を選び、®ボタン を押す

- 以降、同じ要領でメニュー項目を選んでいき、変更したい項目が表示されたら、項目に応じて設定を選択します。
- ・一つ前の画面に戻るには、[<戻る]を選び、
 ・
 ・
 ボタンを押します。







メニューの操作方法



15:30



4	▲▼ でメニュー項目を選び、 (※) ボタンを 押す ・ 撮影モードやカメラの状態によって、設定できな いメニュー項目があります。	 ✓ 15:30 < 戻る 動画撮影モード 	()
5	▲▼で設定内容を選び @ボタンを抽す	動画設定 NTSC/PAL設定	> >
•	• 選んだ設定内容が決定します。	 ▼ 15:30 < 戻る 通常動画 スロー挿入動画 	> >

動画+静止画



メニューの操作方法

メニュー項目一覧

動画メニュー

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 動画 → ®ボタン

項目		初期設定	m
動画撮影モード	[通常動画]		64
利雨乳中※	NTSC	[1080/30p]	65
劉 囲設定 ^不	PAL	[1080/25p]	05
NTSC/PAL設定	[NTSC]		66
電子式手ブレ補正	[しない]		66
風切り音低減	[しない]		67

※ [動画設定] で選べるサイズ/フレームレートは、[NTSC/PAL設定] の設定により変わります。

静止画メニュー

メニューを使う
 メニュー項目一覧

撮影画面にする → ∞ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ∞ボタン → 静止画 → ∞ボタン

項目	初期設定	Ē
静止画	[単写]	68



撮影パラメーター設定メニュー

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 撮影パラメーター設定 → ®ボタン

項目	初期設定	Ē
水中撮影	[しない]	69
ホワイトバランス	AUTOオート	69
ピクチャーカラー	[スタンダード]	70
露出補正	[0.0]	70
設定の初期化	[いいえ]	70

本体設定メニュー

撮影画面にする → ® ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ® ボタン → 本体設定 → ® ボタン

項目	Ш.
日時設定	71
モニター設定	72
	73
オートパワーオフ	74
カードの初期化	75
動画撮影中設定	75
リモコンFnボタン	76
上下反転撮影	76
LED輝度設定	76
パソコン接続充電	77
言語/Language	77
位置情報	78
設定クリアー	78
認証マークの表示	78



項目	
バージョン情報	79
通信メニュー	80

再生メニュー

撮影画面にする → ▼ (再生モード) ボタンを押す → № ボタン

項目	
▶動画再生	85
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□	85
面削除	85
▲●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	86
回プロテクト	86
ち戻る	86



メニュー項目一覧

動画メニュー

動画撮影モード

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 動画 → ®ボタン→ 動画撮影モード → ®ボタン

動画の撮影モード(□35)を選びます。

項目 (動画撮影モード)	内容		m
塛 通常動画	[動画] の設定に従って、通	1 常の動画を撮影します。	37
「東スロー挿入動画	撮影中にリモコンの Fn ボタ イフレームレート動画)の撮	?ンを使って、スロー動画(八 影に切り換えられます。	38
'果❹ 動画+静止 画	動画を撮影しながら、一定 の間隔で静止画を撮影し ます。	静止画の撮影間隔を設定し ます。 [5秒] (初期設定)、[10秒]、 [30秒]、[60秒]	40
^商 スーパーラプス 動画	早送り動画を作成します。	撮影する倍率を設定しま す。 [2倍速]、[4倍速]、[6倍 速](初期設定)、[10倍速]、 [15倍速]	41
♥果⇔ループ動画	設定した時間まで動画を 記録すると、記録した動画 を先頭から消去しながら 新しい動画の記録を続け ます((動画は5つに分割し て記録されます)。	動画の記録時間を設定しま す。 [5分] (初期設定)、[10分]、 [30分]、[60分]	42
[「] ゆタイムラプス動 画	一定間隔で静止画を撮影 して、早送り動画を記録し ます。	静止画の撮影間隔を設定し ます。 [2秒] *、[5秒] *(初期設 定)、[10秒] ^{**} 、[30秒] ^{**} 、 [星空]	44

※ 露出のロック([AE-Lする]、[AE-Lしない](初期設定))を設定できます。



64

S メニューを使う

動画メニュー

動画設定

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 動画 → ®ボタン → 動画設定 → ®ボタン

撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画と、再生するとスローモーションになるHS(ハイスピード)動画があります。選べる項目は、[NTSC/PAL設定] によって異なります(106)。

動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のmicroSDXCメモリーカードをお使いください。動画のサイズ/フレームレートが [2160/30p] (4K UHD)または [2160/25p] (4K UHD)のときは、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをお使いください。

通常速度の動画

項目 (サイズ/フレームレート)	画像サイズ	アスペクト比(横:縦)
2160/30p 2160/25p	3840×2160	16:9
1080/30p 1080/25p (初期設定)	1920×1080	16:9
1080/60p 1080/50p	1920×1080	16:9

HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションになります。

項目 (サイズ/フレームレート)	画像サイズ アスペクト比(横:縦)	内容
HS 1080/4 倍	1920×1080 16:9	再生すると、1/4の速度 のスローモーション動 画になります。
HS 720/8 倍	1280×720 16:9	再生すると、1/8の速度 のスローモーション動 画になります。

HS動画についてのご注意 音声は記録されません。



動画メニュー



NTSC/PAL設定

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 動画 → ®ボタン→ NTSC/PAL設定 → ®ボタン

動画撮影時のフレームレートを選びます。NTSC/PALの設定を切り換えると、〔動 ■設定〕(□165)で選べる項目が変わります。

項目	内容
NTSC	NTSC方式のテレビで再生するのに適しています。
PAL	PAL方式のテレビで再生するのに適しています。

電子式手ブレ補正

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 動画 → ®ボタン→ 電子式手ブレ補正 → ®ボタン

動画撮影時の手ブレ補正を設定します。

項目	内容	
())する	 ¥(セットアップ)メニューの「動画]の「動画設定」が [1080/30p]、[1080/60p]、[1080/25p]、[1080/50p]の ときに、画像処理で電子的に手ブレを補正します。 ・画角(写る範囲)は狭くなります。 	
しない(初期設定)	補正をしません。	

▶ 電子式手ブレ補正についてのご注意

撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。



動画メニュー



撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 動画 → ®ボタン→ 風切り音低減 → ®ボタン

項目	内容	
ೆµ † ನ	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。 再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがありま す。	
しない(初期設定)	風切り音を低減しません。	



動画メニュー

静止画メニュー

静止画

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 静止画 → ®ボタン

項目	内容
単写(初期設定)	静止画を1コマずつ撮影します。
回連写	静止画ボタンを押している間、連写します。 連写速度は約5コマ/秒、連続撮影可能コマ数は約30コマです。

▶ 連写についてのご注意

撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。

静止画の記録画素数について

[単写]、[連写] どちらも記録画素数は「3840×2160」(約8メガピクセル=3840×2160 ピクセル、圧縮率は約1/4、アスペクト比(横:縦)は16:9)に固定されます。





撮影パラメーター設定メニュー

水中撮影

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 撮影パラメーター設定 → ®ボタン→ 水中撮影 → ®ボタン

[する] に設定すると、水中での撮影に適した設定になります。 初期設定は [しない] です。

ホワイトバランス(色合いの調整)

撮影画面にする → ∞ボタン → ¥(セットアップ)アイコン → ∞ボタン → 撮影パラメーター設定 → ∞ボタン→ ホワイトバランス → ∞ボタン

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。
☀晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
楽電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
崇蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
④ 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。



撮影パラメーター設定メニュー



ピクチャーカラー

撮影画面にする → ∞ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ∞ボタン → 撮影パラメーター設定 → ∞ボタン→ ピクチャーカラー → ∞ボタン

撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画(え)作りを設定できます。輪郭 強調の度合い、コントラスト、色の濃さ(彩度)が自動で調整されます。

項目	内容
スタンダード (初期設定)	鮮やかでバランスのとれた標準的な画像になります。ほとんどの撮影状況に適しています。
<i></i> Ø∕Iビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。 青、赤、緑など、原色の色を強調したいときに適しています。
𝗭MCモノクローム	白黒の濃淡で表現した画像になります。

露出補正

撮影画面にする → ∞ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ∞ボタン → 撮影パラメーター設定 → ∞ボタン→ 露出補正 → ∞ボタン

画像全体の明るさを調節できます。

設定の初期化

撮影画面にする → ∞ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ∞ボタン → 撮影パラメーター設定 → ∞ボタン→ 設定の初期化 → ∞ボタン

撮影パラメーターで設定した項目を初期設定に戻します。



撮影パラメーター設定メニュー



本体設定メニュー

日時設定

撮影画面にする → ® ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ® ボタン → 本体設定 → ® ボタン → 日時設定 → ® ボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容	
スマートフォン と同期	スマートフォン/タブレットと日時設定を同期するかどうかを設定 します。	
日時の設定	[スマートフォンと同期]を [しない] にした場合に日時を設定します。 ・ 次の項目に移動する: ◎ ボタンを 押します。 ・ 日時を合わせる: ▲ ▼を押します。 ・ 設定を完了する:一番右まで移動し、 ◎ ボタンを押します。	
日付の表示順	[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年]から選びます。	

✓ 日時設定が未設定の場合

日時が未設定の場合は、画像モニターに**○**(日時未設定)が表示されます。日時を設定 すると表示が消えます。



項目	内容
撮影後の画像表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。 • 初期設定: [する]
画面の明るさ	明るさを調節します。 • 初期設定:[3]
モニター表示設定	画面に情報を表示するかどうかを設定します。

[モニター表示設定] について

	撮影時	再生時
情報OFF		
情報オート (初期設定)	[情報ON] と同じ情報を表示した後 と [情報OFF] と同じ表示になりま します。	後、操作しない状態が数秒経過する ます。操作すると、再び情報を表示
情報ON		★ ⊡[01:00:00] ♥ □





操作音

撮影画面にする → ® ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ® ボタン → 本体設定 → ® ボタン → 操作音 → ® ボタン

項目	内容			
操作音	カメラ操作時の報知音の音量を設定します。 定)、[小]、[OFF]の中から選びます。	[大]、	[中]	(初期設

オートパワーオフ

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 本体設定 → ®ボタン → オートパワーオフ → ®ボタン

撮影操作した後、撮影画面になってからカメラがOFFになるまでの時間を設定し ます。

[2秒]、[5秒]、[30秒](初期設定)、[1分]、[5分]から選びます。

- 電池のみで動作している場合、操作しない状態が続くと、オートパワーオフの設定に 関わらず、決められた時間で電源がOFFになります。
 - 電源ON後(撮影開始前):1分
 - メニュー操作、または再生モードでの操作後:3分
 - 通信メニュー [スマートフォンと接続] でNFC接続待機中: 30分
 - 通信メニュー [リモコンとの接続] で接続待機中:3分
 - HDMIケーブル接続中(無信号の場合):30分
 - USBケーブル接続中(データ送受信がない場合):30分
- 以下の場合は、オートパワーオフしません
 - ACアダプター EH-62F 接続中
 - パソコンとの接続中



カードの初期化(フォーマット)

撮影画面にする → ® ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ® ボタン → 本体設定 → ® ボタン → カードの初期化 → ® ボタン

メモリーカードを初期化(フォーマット)します。

初期化すると、メモリーカード内のデータはすべて削除されます。削除したデー タは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してく ださい。

表示された画面で[初期化する]を選び@ボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/メモリーカードカバーを開けたりしないでください。
- ・ 無線接続中は選択できません。

動画撮影中設定

撮影画面にする → ∞ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ∞ボタン → 本体設定 → ∞ボタン → 動画撮影中設定 → ∞ボタン

項目	内容
ボタン操作	動画撮影中にカメラのボタン操作を有効にするかどうかを設定します。[有効] にすると、以下の操作が可能になります。 ・静止画ボタン:静止画記録 ・ ⑳ ボタン:ハイライトタグ挿入 ・ ▲ ボタン:モニターの ON/OFF ・ ▼ ボタン:スロー動画 (ハイフレームレート動画) への切り換え 初期設定は [無効] です。
LCD自動消灯	 動画撮影を開始してから、カメラのモニターがOFFになるまでの時間を設定します。 [10秒]、[30秒]、[1分]、[5分]、[OFF]から選びます。 • [OFF]を選ぶと動画撮影中、モニターは常時点灯します。 初期設定は [30秒]です。

▼ ボタン操作についてのご注意

動画撮影中にカメラのボタンを押すと、ボタン操作音が録音されることがあります。



本体設定メニュー



リモコンFnボタン

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 本体設定 → ®ボタン → リモコンFnボタン → ®ボタン

リモコン(LL21)のFnボタンを押したときの機能を、以下のいずれかに設定します。

項目	内容
ハイライトタグ挿入	リモコンのFnボタンを押すと、動画にハイライトタグを挿 入できます。
スロー挿入切替	[スロー挿入動画] で撮影中にリモコンのFnボタンを押す と、スロー動画(ハイフレームレート動画)の撮影に切り 換えます。動画撮影モードが[スロー挿入動画]のときの み選べます(口38)。

 動画撮影モードが [スーパーラブス動画] [タイムラブス] のときは、ハイライ トタグは挿入できません。

上下反転撮影

撮影画面にする → ® ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ® ボタン → 本体設定 → ® ボタン → 上下反転撮影 → ® ボタン

カメラ本体を上下逆さに取り付けたり、逆さに持ったりするときに設定します。 記録される画像の上下がカメラの向きの逆になります。[する]に設定すると、画 像モニターに表示される情報(アイコンやメニュー)の上下が入れ替わります。 上下反転させたくないときは [しない]にしてください。

LED輝度設定

撮影画面にする → ®ボタン → ¥(セットアップ)アイコン → ®ボタン → 本体設定 → ®ボタン → LED輝度設定 → ®ボタン

状態表示ランプの明るさを設定します。

ら メニューを使う

本体設定メニュー



パソコン接続充電

撮影画面にする → ∞ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ∞ボタン → 本体設定 → ∞ボタン → パソコン接続充電 → ∞ボタン

項目	内容
オート (初期設定)	起動済みのパソコンに接続すると(CD54)、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内の電池を充電します。
しない	パソコンに接続しても、カメラ内の電池を充電しません。

✔ パソコンで充電するときのご注意

- パソコンに接続するとカメラの電源がONになり、充電が始まります。この間、カメラ本体のボタン操作はできません。
- 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約5時間30分です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的に OFFになります。

▶ 状態表示ランプが緑色で速く点滅したときは

充電できません。以下の可能性があります。

- ・ 充電可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。
- USB ケーブルが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、 電池を交換してください。
- パソコンが休止状態(スリープ状態)で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
- パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

言語/Language

撮影画面にする → ® ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ® ボタン → 本体設定 → ® ボタン → 言語/Language → ® ボタン

画面に表示する言語を設定します。



本体設定メニュー



位置情報

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 本体設定 → ®ボタン → 位置情報 → ®ボタン

撮影画像に位置情報を記録するかどうか設定します。

項目	内容		
スマートフォン から取得 (初期設定)	[する]を選ぶと撮影画像にスマートフォン/タブレットの位置情報 が記録されます。SnapBridge 360/170 アプリの位置情報機能を有 効にしてください。		
情報表示	取得した位置情報を表示します。 • 表示中は更新されません。更新するには、[情報表示] をやり直 してください。		

設定クリアー

撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 本体設定 → ®ボタン → 設定クリアー → ®ボタン

[はい] を選ぶと、♥(セットアップ)メニューの設定が初期設定にリセットされます。

- 通信メニューの設定も初期化します。
- [日時設定]、[言語/Language]、[NTSC/PAL設定] など、一部の設定はリセットされません。
- 無線接続中は選択できません。

🖉 ファイル番号の連番をリセットする

メモリーカード内の画像をすべて削除(1285)してから[設定クリアー]を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。

認証マークの表示

撮影画面にする → ®ボタン → ¥(セットアップ)アイコン → ®ボタン → 本体設定 → ®ボタン → 認証マークの表示 → ®ボタン

78

このカメラが取得している認証マークの一部を表示します。

🕤 メニューを使う

撮影画面にする → ® ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ® ボタン → 本体設定 → ® ボタン → バージョン情報 → ® ボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

• 無線接続中は選択できません。





撮影画面にする → ®ボタン → ¥ (セットアップ) アイコン → ®ボタン → 本体設定 → ®ボタン → 通信メニュー → ®ボタン

カメラとスマートフォン/タブレットを接続するため無線ネットワーク情報を設定 します。

項目		内容
機内モード		[する] にすると、すべての無線通信をOFFにします。
スマートフォンと接続		カメラとスマートフォンをペアリングするときに選びま す。無線接続中は選択できません。→「スマートフォン/タ ブレットを使う場合」手順5(□12) ・ペアリングを解除後にもう一度ペアリングするときは、 再ペアリングをしてください(□22)。
リモコンとの接続		カメラとリモコンのペアリングを設定します。選択すると ペアリング待機中になります。
接続先切替	カメラとス マートフォン	カメラをスマートフォンと接続するか、リモコンと接続す
	カメラとリ モコン	るかを設定します。
撮影時画像送信		画像をスマートフォンへ自動送信する条件を設定します。
Wi-Fi	接続設定	SSID*:SSIDを変更できます。英数字の1~32桁で設定します。
		認証/暗号:スマートフォンと接続するときに、通信信号を 暗号化するかどうかを設定します。 [OPEN] のときは、暗号化しません。
		パスワード [※] :パスワードを設定します。英数字の8~32桁 で設定します。
		チャンネル:無線接続で使用するチャンネルを設定します。
	現在の設定	現在の設定を一覧表示します。

項目		内容
Bluetooth	通信機能	[無効] にすると、Bluetoothの通信をOFFにします。
	ペアリング 済み機器	接続するスマートフォンの切り換えや、ペアリング済みス マートフォンの削除をします。
	電源オフ中 の通信	カメラが電源OFFのときに、スマートフォンと通信をする かどうか設定します。
設定の初期化		通信メニューのすべての設定を初期化します。無線接続中 は選択できません。

※ 英数字の入力方法は「文字入力画面の操作方法」(□184)をご覧ください。

機内モードでは★、Wi-Fi接続時は♥♥、Bluetooth接続時は♥、リモコン接続時は∎が表示されます。





再ペアリング

以下の操作を行うと、ペアリングが解除されます。

- ・

 (セットアップ)メニューの
 [本体設定] →
 [通信メニュー] →
 [設定の初期
 化]
 で設定を初期化したとき
- ・
 (セットアップ)メニューの
 「本体設定]の
 [設定クリアー]
 で設定を初期
 化したとき
- SnapBridge 360/170の

 □つながる]の●をタッチして表示される[接続設定]画面で、[ペアリングを切る]を選択したとき

同じスマートフォンと再びペアリングするときは、以下の手順で再ペアリングし てください。

NFCを使う場合

- 通信メニュー [スマートフォンと接続] を 選んで®ボタンを押し、右の画面が表示 されたら、▲▼で [設定]を選び、®ボ タンを押す
 - NFCの確認画面が表示されます。
- 2 カメラのℕ (Nマーク) にスマートフォン のNFCアンテナ部をタッチする
 - SnapBridge 360/170アプリが起動します。接続の確認画面が表示されたら[OK]をタッチします。
 - スマートフォンのNFC設定を、あらかじめONにしてください。



3 「スマートフォン/タブレットを使う場合」の手順8(□13)以降に 従って設定する







ら メニューを使う

NFCを使わない場合(iOS、またはNFC非対応のAndroidの場合)

 iOSの場合は、スマートフォンのBluetooth設定画面で、Bluetooth デバイス(カメラ名で登録されています)を解除する



- 2 通信メニュー [スマートフォンと接続] を 選んで®ボタンを押し、右の画面が表示 されたら、▲▼で[設定]を選び、®ボ タンを押す
 - NFCの確認画面が表示されます。





4 ○ [つながる] の ● を タッチして表示される 画面で、ペアリングする カメラの機種名をタッ チする



t

SnapBridgelt

通信メニューで後から

設定

後で

でも設定できます。

5 「スマートフォン/タブレットを使う場合」の手順8(□13)以降に 従って設定する



83

ら メニューを使う

文字入力画面の操作方法

- カメラの ▲▼ を押して、選択したい文字を黄色 ボックスに表示させます。 ◎ボタンを押すと、選 択した英数字が文字列に追加されカーソルが次の 桁に移動します。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、カメラの
 ▲▼を押して黄色のボックスに◆または→を表示させ、◎ボタンを押します。



- 1文字削除するには、削除する文字の上にカーソルを移動し、黄色のボックスで **6**を選んで
 6 のボタンを押します。
- 設定を確定するには、黄色のボックスで↓を選んで®ボタンを押します。



再生メニュー

▶動画再生

再生画面にする → ∞ボタン → ▶ (動画再生)

画像モニターに表示されている動画を再生します。 「動画再生中の操作」→□146

再生画面にする→∞ボタン→□○(動画編集)

画像モニターに表示されている動画を編集します。動画から任意の範囲を抽出し、 別の動画として保存できます。 「動画の編集 | →□148

面削除

再生画面にする → ®ボタン → 節(削除)

画像モニターに表示されている静止画または動画を削除します。

▶ 画像削除の制限について

複数の画像を選んで削除できません。



再生メニュー



▲ ● 画像送信

再生画面にする → ∞ボタン → ▲▼ (画像送信)

再生メニューで選択中の静止画を、送信予約リストに追加します。 動画は指定できません。動画をスマートフォン/タブレットに取り込むには、 SnapBridge 360/170 アプリを操作してください。

っ プロテクト

再生画面にする→∞ボタン→ ⊡(プロテクト)

大切な画像を誤って削除しないように保護します。 再生画面で表示されている画像を、プロテクトしたり、解除したりできます。 メモリーカードを初期化(フォーマット)(2275)すると、プロテクト設定した 画像も削除されますので、ご注意ください。

5戻る

再生画面に戻ります。



再生メニュー



資料

無線通信機能についてのご注意	
取り扱い上のご注意	
カメラについて	
電池について	91
本体充電 AC アダプターについて	
メモリーカードについて	
お手入れ方法	
水中で使用後のクリーニング	
水中以外で使用後のクリーニング	95
保管について	95
警告メッセージ	
故障かな?と思ったら	
記録データのファイル名	103
使用できるアクセサリー	104
主な仕様	107
索引	114
ニコンプラザのご案内	116
修理サービスのご案内	117



無線通信機能についてのご注意

● 電波に係わるご注意

本製品はWi-Fi (無線LAN) /Bluetooth機能を搭載しています。国や地域によって、法律によりWi-FiおよびBluetooth機能が使用できない場合があります。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載のニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 情報の漏洩:悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの 個人情報が漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス:悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なり すまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品に セキュリティーを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様 上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理 解の上ご使用ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責 任を負いません。
- スマートフォンやタブレットに使用権限のないネットワークが表示されても、 接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあり ます。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報 を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱い で変化、消失する場合があります。
 必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。
 当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損 害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- カメラを譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、
 (ロ59)の[本体設定]の[通信メニュー]の[設定の初期化]で、初期化してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社 は一切の責任を負いません。

●本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations (EAR) を含む米 国法の対象です。EAR の輸出規制国(キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シ リア:変更される可能性があります)以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許 可は不要です。



● Wi-Fi (無線LAN) 機能/Bluetooth機能のご注意

デジタルカメラ KeyMission 170





リモコン ML-L6



- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局(免許を要する無線局)
 - 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
 - アマチュア無線局(免許を要する無線局)

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、 通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiア クセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載のニコンカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV 機器、OA 機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi/Bluetooth機器としてお使いください。

Wi-Fi/Bluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負い ません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。




取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(CDviii~xi)をお守りください。

カメラについて

カメラについての取り扱い上の注意については、「<重要>耐衝撃性能、防水/防 じん、結露について」(□xii)をあわせてご確認ください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレン ズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所(寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合)にカメラ を持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビ ニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録デー タが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。 過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、そ の際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生することがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてく ださい

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

● 画像モニターについて

- ・画像モニター(電子ビューファインダー含む)は、非常に精密度の高い技術で作られ ており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものが あります。そのため、常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一 部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響 ありません。あらかじめご了承ください。
- ・ 屋外では画像モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- ・ 画像モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、画像モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでけがをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、ロに入ったりしないようご注意ください。



取り扱い上のご注意

電池について

使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃~40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに 使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。 ・ 周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。

- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、 性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなって いるときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
 このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池の温度が0℃以下、45℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があ ります。

● 低温時には残量の十分な電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメ ラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温 し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温 に戻ると使える場合があります。





● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚 れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、電 池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してから お使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- ・電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃~25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池を十分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい 電池をお買い求めください。

リサイクルについて



充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイク ルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁して から、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

- 数字の有無と数値は電池に よって異なります。

本体充電ACアダプターについて

- ・ 本体充電AC アダプター EH-73P に対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-73Pは、家庭用電源のAC 100-240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。



取り扱い上のご注意

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、microSD/microSDHC/microSDXCメモリーカード以外は使えません(CD8)。
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 初期化について
- メモリーカードをパソコンで初期化(フォーマット)しないでください。
- 他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメ ラで初期化してください。
 未使用のメモリーカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。
 初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- ・メモリーカードを入れた後にカメラに [このカードは初期化されていません。初期化しますか?]の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、[いいえ]を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。メモリーカードを初期化してよければ、[はい]を選んで初期化してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、 データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。
 - 電池/メモリーカードカバーを開けて、メモリーカードや電池を脱着する
 - カメラの電源を OFFにする
 - ACアダプターを外す



▲ 資料
取り扱い上のご注意

お手入れ方法

水中で使用後のクリーニング

水中や海辺などでカメラを使った後は、60分以上放置せずに、以下の手順で水洗 いしてください。水中用レンズプロテクターを例に説明します。

- 1. 電池 / メモリーカードカバーが確実に閉まっている (ロックがかかっている)ことを確認する
 - 電池/メモリーカードロックレバーおよび電池/メ モリーカード開閉レバーが、右の図のようになって いて、それぞれのオレンジ色の指標が見えないこと を確認してください。



 水中用レンズプロテクターを取り付けたまま、真水 で洗う

浅い容器に溜めた真水の中に、約10分間浸け置きし てください。

真水に浸けて軽く揺すり、異物を洗い流してください。異物が残っているときは、綿棒などで取り除いてください。



- 水に浸けると、マイクやスピーカーなどの水抜き孔 からわずかに気泡が出ることがありますが、故障ではありません。
- 3. 柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かす
 - 乾いた布などの上に立てて置いて、乾かしてください。
 - ドライヤーなどの熱風や乾燥機などで乾燥させないでください。
- 4. 水滴などの付着がないことを確認してから、水中用レンズプロテクターを取り 外し、水中用レンズプロテクターの内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた 布で取り除く
 - 内側がぬれたままで水中用レンズプロテクターを取り付けると、結露や故障の原因になります。
- 5. 水滴などの付着がないことを確認してから、電池/メモリーカードカバーを開け、パッキンやカメラの内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布でふき取る
 - 内側がぬれたままでカバーを閉じると、結露や故障の原因になります。





水中以外で使用後のクリーニング

レンズ、レンズプロテクター、画像モニター、カメラボディーや専用アクセサリー 等に付着したゴミやホコリはブロアーやエアダスターなどで吹き払ってくださ い。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取っ てください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因にな ることがあります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは電池を取り出し、以下の場所を避けて保 管してください。ただし、カビや故障を防ぐため「月に一度」を目安に電池を入 れ、カメラを操作するようおすすめします。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 取り外した電池は使い切った状態で保管し、半年に1回は充電してください。また、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。



警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	
電池が高温です。 電源をOFFにします。	電源が自動的に OFF になります。温度が下がるま	_
カメラが高温です。 電源をOFFにします。	でしばらく放置してからご使用ください。	
電池が低温のため 撮影を終了します。	[2160/30p]、[2160/25p]、[HS 1080/4 倍]、 [HS 720/8 倍] で撮影中に電池の温度が0で未満 になりました。撮影終了後、電源が自動的にOFF になります。動画設定を変えて撮影してください。 [2160/30p]、[2160/25p]、[HS 1080/4 倍]、 [HS 720/8 倍] で撮影したい場合は、電池を取り 出し、手のひらなどで温めてから使用してくださ い。	32
電池残量がありません。	電池を充電してください。	-
このカードは 使えません。	メモリーカードへのアクセス異常です。 ・ 動作確認済みのメモリーカードを使ってくだ	
カードに異常が あります。	 メモリーカードの端子部分が汚れていないか 確認してください。 メモリーカードが正しく挿入されているか確 認してください。 	7、8
このカードは初期化 されていません。 初期化しますか?	メモリーカードが、このカメラ用に初期化されて いません。 初期化するとメモリーカード内のデータはすべて 削除されるため、メモリーカード内に必要なデー タが残っているときは、[しいえ]を選び、初期化 する前にパソコンなどに保存してください。[は い]を選んで®ボタンを押すと、メモリーカード を初期化できます。	75
メモリー残量が ありません。	不要な画像を削除するか、メモリーカードを交換 してください。	7、85



表示	考えられる原因や対処法	Ш.
	画像記録中にエラーが発生しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカードを 初期化してください。	7、75
画像を保存できません。	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカードを 初期化してください。	7、75
	編集した画像を記録する空き容量がありません。 不要な画像を削除するか、メモリーカードを交換 してください。	7、85
動画記録できません。	メモリーカードに動画を記録するのに時間がか かっています。 画像記録処理の速いメモリーカードに交換してく ださい。	8、33
撮影画像がありません。	撮影済みの画像がありません。	
このファイルは 削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	86
無線接続を切断しまし た。	以下の場合、無線接続が切断されます。 ・電波の状態が悪い ・電池残量が少ない ・ケーブルやメモリーカードを抜き差しした 十分に残量のある電池を使い、ケーブルを外して、 無線接続をやり直してください。	_
電池が低温のため 動画設定を 1080/30pにします。	電池の温度が0℃未満です。[2160/30p]、[2160/ 25p]、 [HS 1080/4 倍]、 [HS 720/8 倍] で撮影	32
電池が低温のため 動画設定を 1080/25pにします。	したい場合は、電池を取り出し、手のひらなどで 温めてから使用してください。	52
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにして電池を入れ直し、もうー度電源 をONにしてください。エラー表示が続くときは、 ニコンサービス機関までご連絡ください。	98
バージョンアップエ ラー	ファームウェアのバージョンアップに失敗しまし た。バージョンアップをやり直してください。	-

資料





故障かな?と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	Ē
電源 ON の状態で、カメ ラの操作ができない	 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお 待ちください。 操作できない状態が続くときは、電源を OFF に する操作をしてください。 電源が OFF にならない場合は、電池を入れ直し てください。 AC アダプター使用時は付け直してください。 記録中であったデータは保存されません。 保存済みのデータは電池やAC アダプターの 取り外しでは失われません。 	_
電源をONにできない	電池残量がありません。	7、9、91
カメラの電源が突然切 れる	 オートパワーオフ機能が働きました。 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 [2160/30p]、[2160/25p]、[HS 1080/4倍]、 [HS 720/8 倍] で撮影中に電池の温度が0℃未満になると、撮影を終了し、自動で電源がOFF になります。 カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 	10 91 32
画像モニターに何も映 らない	 撮影中に背面の▲ボタンを押すと、画像モニターの消灯 / 点灯が切り換わります。 電源が入っていません。 オートパワーオフ機能が働きました。 カメラがテレビまたはパソコンと接続されています。 カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続して、カメラをリモート操作中です。 AC アダプターの使用中は、コードなどの接続状態をご確認ください。 動画撮影開始から 30 秒でモニターが消灯します(初期設定)。モニターが消灯するまでの時間は ♥(セットアップ)メニューの「本体設定」の「動画撮影中設定」の「LCD 自動消灯」で変更できます。 	3 11 10 - - 104 75



故障かな?と思ったら

こんなときは	考えられる原因や対処法	m
カメラの温度が高くな る	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高 い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くな ることがありますが、故障ではありません。	_
カメラ内の電池を充電 できない	 プラグの接続状態を確認してください。 パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。 ∀ (セットアップ)メニューの [本体設定]の [パソコン接続充電]が [しない] になっています。 カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電 AC アダブターで充電してください。 パソコンが休止状態 (スリーブ状態) になると、充電が中止されることがあります。 パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。 	9 59、77 71
画像モニターがよく見 えない	 周囲が明るすぎます。 暗い場所に移動してください。 画面の明るさを調節してください。 	72
画面で⊖が点滅する	 内蔵時計の日時を設定しないと、撮影画面で 	
撮影日時が正しく表示 されない	か 気滅じ、 静正 画の 撮影 日時 が [2016/00/00 00:00] 、 動画 の 撮影 日 時 が [2016/01/01 00:00] と記録されます。 ♥ (セットアップ) メ ニューの [本体設定] の [日時設定] で日時を 正しく設定してください。 ・ 内蔵時計は 腕時計などの一般的な時計ほど精 度は高くありません。定期的に日時の設定を行 うことをおすすめします。	71
電源を入れると日時設 定の設定画面が表示さ れる	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。 カメラを再設定してください。	
設定内容が初期状態に 戻ってしまった	 カメラの時まれや一部の設定の保持には、内蔵の時計用電池が使われています。時計用電池はカメラに電池を入れるか AC アダブター(別売)を接続すると約 10 時間で充電され、カメラの電池を取り出しても数日間動作します。 	_



故障かな?と思ったら



撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法			
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたは USBケーブルを外してくだ さい。	54		
撮影できない	 再生モードのときやメニューが表示されているときは、動画ボタン、または静止画ボタンを 畑して、撮影画面に戻ってください。 		19、	59
	• 電池残量がありません。	7、	9、9	91
画像がぶれる	 動画を撮影するときは [電子式手ブレ補正] を 使うと効果的です。 	66		
	 三脚などでガメブを安定させてください。 	_		
シャッター音や操作音 が鳴らない	♀ (セットアップ) メニューの [本体設定] の [操 作音] が [OFF] になっています。[大]、[中]、 [小] にしていても、撮影モードや設定によっては シャッター音が鳴りません。	73		
画像が鮮明でない	レンズ、または水中用レンズプロテクターが汚れ ています。	94		
画像の色合いが不自然 になる	適切なホワイトバランスまたはカラーが選ばれて いません。	69		
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅く なっているか、ISO感度が高くなっています。故 障ではありません。	_		
画像が暗すぎる	露出を補正してください。	70		
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	70		
画像の記録に時間がか かる	連写で撮影すると、画像の記録に時間がかかるこ とがあります。	_		
画面や撮影画像にリン グ状の帯や虹色の縞模 様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内 にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様 (ゴースト)等が写し込まれることがあります。光 源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮 影をお試しください。	_		



故障かな?と思ったら

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	m
再生できない	 このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 このカメラ以外で記録した動画は、再生できません。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 	_
画像編集ができない	 カメラでは静止画の編集はできません。 動画の編集で作成した画像は、再編集できません。 メモリーカードに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 カメラで編集できない動画撮影モードがあります。 	-
画像がテレビに映らな い	 ・ (セットアップ) メニューの (動画) の [NTSC/ PAL 設定] が正しく設定されていません。 メモリーカードに画像が記録されていません。 	59、66



故障かな?と思ったら



SnapBridge 360/170、リモコン関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	m
スマートフォンでカメ ラが操作できない	 ペアリングをしてください。 ペアリング済みの場合は、[通信メニュー]の 	11、23 80
リモコンでカメラの操 作ができない	「安和元の音」 こ [カメラとスマードフォフ] よ たは [カメラとリモコン] に切り換えてくださ い。	
ペアリングができない	以下を実行してから、「電源をONにして、カメラ をセットアップする」(口11)の手順に従って、 ペアリングをやり直してください。 ・カメラの動画ボタンを3秒以上長押して電源を OFF にし、SnapBridge 360/170 アプリを完全 に終了します。 ・iOS をお使いの場合はスマートフォンの設定ア プリで「Bluetooth」をタッチし、Bluetooth デバイス(カメラ名で登録されています)を解 除してください。	-
リモート撮影やお好み 画像転送ができない	ペアリングが完了し、Wi-Fi 接続されているにも かかわらず、リモート撮影やお好み画像転送がで きない場合は、次の操作を行うことで、問題が解 決する場合があります。 • SnapBridge 360/170 のタブを切り換える • SnapBridge 360/170 の[接続設定] でペアリ ングを切り、デバイス登録を解除してから再ペ アリングを行う	82





故障かな?と思ったら

記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けら れます。

ファイル名: DSCN0001.MP4

1 2 3

①識別子	カメラの画面には表示されません。 • DSCN:通常画像(動画、静止画) • FSCN:動画編集で作成した動画
②ファイル番号	0001から9999までの連番で付けられます。
③拡張子	ファイルの種類を示します。 • JPG:静止画 • .MP4:動画



記録データのファイル名



使用できるアクセサリー



※ 日本国内専用電源コード (AC 100 V対応) 付属。日本国外でお使いになるには、別 売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお 問い合わせください。 また、オンラインショップ (ニコンダイレクト) http://shop.nikon-image.com/ でも

また、オフライフショップ(ニコフタイレクト)http://snop.nikon-image.com/ でも お買い求めいただけます。



104



使用できるアクセサリー





ベースアダプター AA-1B



リストマウント AA-6



チェストマウント AA-8



バックパックマウントクリップ AA-10





ハンドルバーマウント AA-7



サーフボードマウント AA-9



サクションカップマウント AA-11



使用できるアクセサリー



ベースマウント セット (平面×3・曲面×3) AA-12



レンズプロテクター AA-14B



リモコン ML-L6



ウォータープルーフケース WP-AA1

国または地域によって、販売していない場合があります。 アクセサリーの最新情報は、当社ウェブサイトやカタログなどでご確認ください。



リモコン用リストバンド AA-13



水中用レンズプロテクター AA-15B



ハンディースティック MP-AA1

106

6 資料

使用できるアクセサリー

主な仕様

중 資料

主な仕様

ニコン デジタルカメラKeyMission 170

푗	试	コンパクトデジタルカメラ	
有効画素数		829万画素	
撮像素子		1/2.3型 原色CMOS、総画素数1271万画素	
ν	ッンズ	NIKKORレンズ	
	焦点距離	2.4 mm(35mm判換算15 mm相当)	
	開放F値	f/2.8	
	レンズ構成	5群7枚	
	画角	170°	
手	ブレ補正機能	電子式(動画)	
フ	' ォーカス	固定焦点	
	撮影距離範囲	先端レンズ面中央から約40 cm~∞	
画	i像モニター	1.5型TFT液晶、約34万ドット	
	視野率(撮影時)	上下左右とも約97%(対実画面)	
	視野率(再生時)	上下左右とも約99%(対実画面)	
記録方式			
	記録媒体	microSD/microSDHC/microSDXCメモリーカード	
	対応規格	DCF、Exif 2.3準拠	
	ファイル形式	静止画:JPEG 動画:MP4(映像:H264/MPEG-4 AVC、音声:AACステレオ)	
Ē	録画素数	8M (3840×2160)	
動	画設定		
	通常速度の動画	[NTSC/PAL] 設定が [NTSC] のとき • 2160/30p • 1080/30p • 1080/60p [NTSC/PAL] 設定が [PAL] のとき • 2160/25p • 1080/25p • 1080/50p	
	HS動画	HS 1080/4 倍 HS 720/8 倍	

107



ISO感度 (標準出力感度)	ISO 100~1600
露出	
測光モード	マルチパターン測光
露出制御	プログラムオート、露出補正(±2段の範囲で1/3段刻み) 可能
シャッター方式	CMOS電子シャッター
シャッタースピード	1/16000~1/2秒
外部インターフェース	
USB端子	Micro-USB端子(付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使 わないでください)、Hi-Speed USB
HDMI出力端子	HDMIマイクロ端子(Type D)
Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g(無線LAN標準プロトコル)
周波数範囲(中心周波 数)	2412~2462 MHz (1~11ch)
出力	9.73 dBm (EIRP)
認証方式	オープンシステム、WPA2-PSK
Bluetooth	
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.4.1
表示言語	日本語、英語
電源	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12(リチウム イオン充電池:付属)×1個 AC アダプター EH-62F(別売)
充電時間	約 3時間 (本体充電ACアダプター EH-73P使用時、残量の ない状態からの充電時間)
電池寿命※1	
静止画撮影時	約 250コマ(EN-EL12使用時)
動画撮影時(実撮影電 池寿命) ^{※2}	約 60分(EN-EL12使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法(幅×高さ×奥行き)	約 66.4×46.8×42.7 mm(レンズプロテクター AA-14B含 む。突起部除く)





質量		約 134.5 g (レンズプロテクター AA-14B、電池、メモリー カード含む)
動作環境		
	使用温度	-10℃~+40℃(陸上)、0℃~40℃(水中)
	使用湿度	85%以下(結露しないこと)
财	冰性能	JIS/IEC保護等級8(IPX8)相当(当社試験条件による) 水深10m、60分までの撮影が可能
防じん性能		JIS/IEC保護等級6 (IP6X)相当 (当社試験条件による)
耐衝擊性能※3		MIL-STD810F Method 516.5-Shockに準拠した当社試験 条件 ^{※4} をクリアー

- 仕様データは、CIPA(カメラ映像機器工業会)の規格またはガイドラインに準 拠しています。
- ※1 電池寿命は、SnapBridge 360/170を使用していないときの値です。また、使用温度、 撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。

※2 画像モニターの上部に表示される動画の連続撮影可能時間(1回の撮影で記録可能な時間)は、メモリーカードの残量によります。 カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

- ※3 レンズプロテクターまたは水中用レンズプロテクター装着時。
- ※4 高さ200 cmから厚さ5 cmの合板に落下させます(落下衝撃部分の塗装剥離、変形な ど外観変化、防水性能は不問とします)。すべての条件での無破壊、無故障を保証す るものではありません。







Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh
使用温度	0℃~40℃
寸法(幅×高さ×奥行き)	約 32×43.8×7.9 mm
質量	約 22.5 g

本体充電ACアダプター EH-73P

電源	AC 100–240 V、50/60 Hz、MAX 0.14 A
定格入力容量	12–18 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃~40℃
寸法(幅×高さ×奥行き)	約55×22×54 mm
質量	約51 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。 ~ AC(交流)、--- DC(直流)、回 クラスⅡ機器(二重絶縁構造)

リモコン ML-L6

Ē	源	3V CR2032型 リチウム電池
В	uetooth	
	通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.4.1
	周波数範囲(中心周波 数)	2402~2480 MHz
	出力	9.61 dBm (EIRP)
	通信距離	約10 m
動	作環境	
	使用温度	-10℃~+40℃(陸上)
	使用湿度	85% 以下 (結露しないこと)
防	冰性能	JIS/IEC保護等級7(IPX7)相当(当社試験条件による) 水深1mに30分浸しても浸水しないことを確認していま す。ただし、水中では使用できません。
4	法(幅×高さ×奥行き)	約 60.0×13.8×40.0 mm(突起部除く)
質	量	約22.6 g(電池含む)



主な仕様

ベースアダプター AA-1B

寸法(幅×高さ×奥行き)	約63.5×54.5×46.0 mm	(カメラ取り付けネジ含まず)
質量	約44 g	
耐荷重	最大300 g	

ベースマウント(平面) AA-2

寸法(幅×高さ×奥行き)	約40.0×12.5×49.2 mm	(突起部除く)
質量	約10g	

ベースマウント(曲面) AA-3

寸法(幅×高さ×奥行き) 約40.0×12.5×49.2 mm (突起部除く)

 質量 約9 g

レンズプロテクター AA-14B

寸法(直径×奥行き)	約38.0×12.5 mm
質量	約5.6 g

水中用レンズプロテクター AA-15B

 寸法(幅×高さ×奥行き)
 約53.0×39.8×14.0 mm (突起部除く)

 質量
 約20 g

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。





商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商 標または商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録 商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用し ています。
- Apple®、App Store®、Appleロゴ、Mac、OS X、iPhone®、iPad®、iPod touch® およびiBooksは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録 商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社(http://www.aiphone.co.jp/)のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。Android ロボットは、Googleが作成、提供しているコンテンツから複製または変更した もので、クリエイティブ・コモンズ3.0表示ライセンスに記載の条件に従って使 用しています。
- iOSの商標は、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.のライセンス に基づき使用しています。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシ ステムズ社)の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- microSDXC、microSDHC、microSDロゴはSD-3C,LLCの商標です。



 HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMILicensing, LLCの商標または登録商標です。

нэті

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。





"Made for iPod," "Made for iPhone," and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される 場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているもので す。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVC ビデオといいます)

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、または AVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手した AVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許 諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

http://www.mpegla.comをご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (http://www.freetype.org) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2016 The HarfBuzz Project(http:// www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz)のものです。すべての権利は その所有者に帰属します。





索引

マーク・英数 ▼ (▶ 再生) ボタン......3 N マーク.....2 ♥ (セットアップ) メニュー......59 Bluetooth......81 EH-73P 110 EN-EL12......110 Fn ボタン......21 HDMI マイクロ端子 (Type D)....3、54 KeyMission 360/170 Utility56 Li-ion リチャージャブルバッテリー microSDHC8、93 microSDXC......8、93 Micro-USB 端子...... 3、54、56

NTSC/PAL 設定			66
SnapBridge	. iii 、	11、	15
USB ケーブル	.9、	54、	56
ViewNX-i			.57
Wi-Fi			80
Wi-Fi 通信表示			4

ア

アクセサリー21、	104
一時停止	47
位置情報	78
オートパワーオフ	74

<u>ታ</u>

カードの初期化7、	75
風切り音低減4、	67
画像送信	86
画像モニター	、 4

画像を送る		19
画像を削除		. 20
画面の明るさ		72
機内モード	4、	80
記録可能時間 (動画)		4
組み合わせて使えない機能		51
言語 /Language		77
現在の設定		. 80

サ

<u> </u>		
再生		19
再生メニュー	59、	85
再生モード	46、	63
削除		85
撮影		18
撮影後の画像表示		72
撮影時画像送信		. 80
撮影パラメーター設定メニュー		
	59、	69
三脚ネジ穴	.2、	108
充電	9、	77
充電器		104
上下反転撮影		. 76
状態表示ランプ2、3、	21、	30
使用できるアクセサリー		104
初期化	7、	75
スーパーラプス動画 🛱		41
水中撮影	4、	69
水中用レンズプロテクター		. 28
スピーカー		2
スマートフォンと接続		. 80
スロー挿入動画 🦷		38
静止画		. 68
静止画記録可能状態表示		4
静止画記録不可状態表示		4
静止画撮影		18
静止画の記録 (動画撮影中)		. 34
静止画の撮影モード		4
静止画ボタン	2、	21
静止画メニュー	59、	68
接続先切替		. 80





設定クリアー	.78
設定の初期化70、	81
操作音	.73

夕

タイムラプス動画 6		.44
タグの記録 (動画撮影中)		. 34
脱落防止用ひも取り付け部		3
単写		. 68
通常動画 🦷		37
通信メニュー		. 80
テレビ	. 54、	55
電源ボタン		21
電子式手ブレ補正	4、	66
電池7、	9、	110
電池 / メモリーカードカバー		3
電池/メモリーカードカバー開閉	月レ ノ	ľ—
		3
電池 / メモリーカードカバーロ	コック	ゥレ
ノビー		3
電池残量表示		4
電池室	. 3、	104
電池ロックレバー	3	、7
動画+静止画 🐙 🗖		.40
動画再生19、	46、	85
動画再生中の操作		.46
動画再生モード		5
動画撮影	18、	32
動画撮影中設定		75
動画撮影モード4、	35、	64
動画設定4	、5、	65
動画の編集		.48
動画編集		85
動画ボタン 2、	18、	21
動画メニュー	.59、	64

<u>+</u>

日時の設定1	1、71
日時未設定表示	4
認証マークの表示	78

<u>л</u>

	70
ハーフョン 旧報	7 /
ハー ノートタノ	

パソコン5	4、	56
パソコン接続充電		77
バッテリーチャージャー		104
ピクチャーカラー		. 70
日付の表示順		71
ファイル名		103
フォーマット		75
プロテクト	5、	86
ベースアダプター		. 26
ベースマウント		. 26
防水パッキン		3
ボタン操作		75
ホワイトバランス	4、	69
本体充電 AC アダプター),	110
本体設定メニュー		59

<u>र</u>

マイク	2
メモリーカード8、	93
メモリーカードスロット	3
メモリーカードの初期化7、	75
文字入力	.84
モニター設定	72
モニター表示設定	72

ラ

-	
リストバンド	25
リモコン	21
リモコン Fn ボタン	76
リモコンに電池を入れる	22
リモコンのペアリング	23
ループ動画 県 🗘	
ループ動画再生モード	5
連写 🖳	
レンズ	2、107
レンズプロテクター	2、28
レンズプロテクター (水中用).	
露出補正	
露出補正値	4



ニコンプラザのご案内

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映 像製品の総合情報拠点です。お客さまのデジタルイメージングの世界を拡げ、写真 文化の普及、向上に資するよう目指しています。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2 階 営業時間:10:30~18:30(年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー28階 営業時間:10:30~18:30(年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ名古屋

〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル2階 営業時間:10:30~18:30(日曜日、祝日、年末年始を除く毎日)

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階 営業時間:10:30~18:30(年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザショールーム (銀座・新宿・名古屋・大阪) ナビダイヤル 0570-02-8080 ニコンプラザサービスセンター (銀座・新宿・名古屋・大阪) ナビダイヤル

ニコンフラザサービスセンター (銀座・新宿・名古屋・大阪) ナビダイヤ 0570-02-8060

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03)6702-0577 におかけください。

-補修用性能部品と修理可能期間について-

補修用性能部品(機能維持に必要な部品)の保有期間内(製造打ち切り後5年 を目安)を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過 後も修理できる場合もありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄 りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障また は破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この 故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

ニコンプラザのご案内

修理サービスのご案内

■修理のご依頼

ニコンサービス機関(修理センター、ニコンプラザサービスセンター)、ご購入店、 または最寄りの販売店にご依頼ください。

- 修理センターについては以下で、ニコンプラザサービスセンターについては、 前ページでご案内しています。
- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください(内蔵メモリーがあるカメラでは、メモリー内のデータが消去される場合があります)。
- 補修用性能部品と修理可能期間については、前ページをご覧ください。

■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など 弊社定休日を除く毎日)

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。
- ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。

修理センターナビダイヤル 0570-02-8200

 ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、カスタマーサポートセンター(03) 6702-0577 におかけください。

■ニコン ピックアップサービス

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が一括して代行するサービスです。全国一律の料金 にて承ります(大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります)。

<インターネットでのお申込み>

http://www.nikon-image.com/support/repair/

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込み、見積もり金額やインターネットで 申し込んだ修理の進捗状況や納期などの確認ができます。

<フリーダイヤルでのお申込み>

ニコンビックアップサービス専用フリーダイヤル(ヤマト運輸にて承ります) 0120-02-8155

営業時間:9:00~18:00 (年末年始 12/29~1/4 を除く毎日)



修理サービスのご案内

■製品の使い方に関するお問い合わせ。

■ニコン カスタマーサポートセンター

営業時間:9:30~18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)

■
ノノ ニコン カスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ・ ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、(03) 5977-7499 にお送りください。

■お問い合わせ時のお願い

- おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ソフトウェアのトラブルは、おわかりになる範囲で「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OS名およびバージョン」、「CPU名およびメモリー容量」、「セキュリティーソフトウェア名」、「問題発生時の操作手順と症状」、エラーメッセージが表示されていたらメッセージ内容などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ファクシミリや郵送でのお問い合わせは、「ご住所」、「お名前(フリガナ)」、「電話番号」、「FAX番号」を(会社の場合は会社名と部署名も)明確にお書きください。

━━━━━ ニコンイメージング (ウェブサイト) /サポートページ ━━━

http://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。 製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

※修理に関するお問い合わせは、前ページの「修理サービスのご案内」もご参照ください。

株式会社 ニコン 株式会社 ニコン イメージング ジャパン

© 2016 Nikon Corporation

YP7D04(10) 6MQA0710-04